明治三十四年四月十五日發行（明治二十年十一月本會創立）

第三種郵便物認可（明治廿六年四月四日）　每月一回十五日發行　內務省許可（明治廿一年二月廿八日）

# 婦人衛生雜誌

第百柒拾七號

私立大日本婦人衛生會

# 婦人衛生雜誌

## 第三十七號　目次

# 特別廣告（第二）

本會の會長及副會長幹事は前號紙上に掲載致し候へども評議員は今般會長の特選により左之通り御依囑相成候間此段會員諸氏に告ぐ

◎前號紙上廣告致し候幹事中西靜子には御都合により御斷りに付次點者　羽田三緒子御就任相成候也

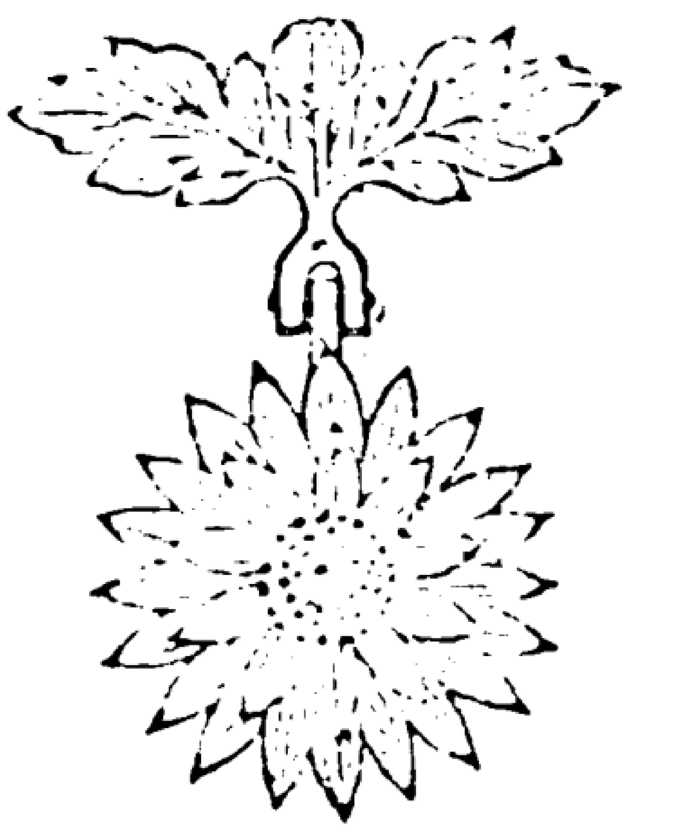
評議員

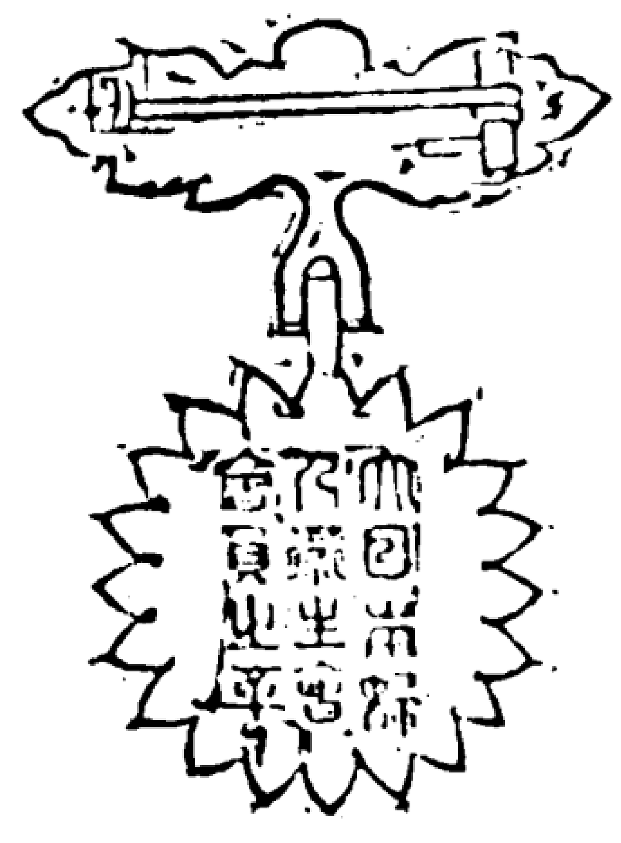
石川さだ子　男爵夫人 川口直子　伯爵夫人 松平充子
濱田拾子　吉武輝枝子　子爵夫人 松井正子
仁禮壽賀子　丹波さだ子　馬渡玉子
西升子　子爵夫人 田中い代子　子爵夫人 松前藤子
男爵夫人 西靜子　高橋孝子　子爵夫人 秋元宗子
德富靜子　男爵夫人 南部隈子　宮下咲子
緒方悅子　中濱芳子　宮本樂子
男爵夫人 加藤鈴子　岡山とし子　三宅ふじ子
山本多穗子

（姓名イロハ順）

明治三十四年四月

私立大日本婦人衛生會





實物此圖より小也

# 徽章調製濟特別廣告

一今般黄菊白菊の花を以て本會々員の徽章に相定め候事は前號紙上に於て御報中上置候通上部には菊の蕾と葉を以てし下部には菊の花を垂下す（地はつや消し銀花瓣磨き出し中心金色）從來の會員劵は粗末なるもの故隨て遺失し易く且未だ差上げざる向も不少候間此際一般に改めて御交付致し度候也

一右徽章は襟留兼用に製せるを以て集會の際は勿論成べく平素御用ゐ被下度左すれば自然本會の廣く江湖に知れ渡り普及の一端と可相成候此徽章は其筋の內覽に供へ候間菊花御紋章に對する懸念毫も無之爲念此段申添候也

一右徽章は金銀の二種に分ち通常會員章（第一號銀メッキ製一個拾五錢）（第二號正銀製一個五拾錢）終身會員特別會員章（銀臺金章壹圓）にて御交付中上候

○目下徽章調製濟に付地方會員若しくは東京府下郡部の會員方は相當徽章代及び郵送費七錢を添へ小爲替にて至急御申越を乞ふ（但郵便切手は一割増に相願候）

◎尚新たに御入會の地方及東京郡部の方は三ヶ月以上の會費と徽章代を添へ御申込有之度候也

明治三十四年四月

私立大日本婦人衛生會



私立大日本婦人衛生會 會長 侯爵夫人 鍋島榮子

## 講演

# 婦人に必要なる衛生上の注意

醫學士 木下正中君演說
仙速記事務所員速記

私は今日「婦人に必要なる衛生上の注意」と云ふことに就きまして、二三の事柄を御話し致たいと存じます、近頃衣服の改良とか、それに續いで家屋の改良とか云ふ問題が段々起つて參りまして、先輩の方々などが種々にさう云ふ方面に就て御盡力になつて居るやうでございます、私も多少さう云ふ事柄に就て、窃に考へて居りまして、頻りに熟考して居る間に、既にさう云ふ御話を承つて甚だ悅ばしいことであると存じて居る次第でございます、どうも今まで日本の家屋及び衣服は、衞生上から論ずると種々缺點が多いのでございます、又經濟の上からも數多の不利益があるだらうと思ひます、併ながら今日まで衣服の改良は種々行はれましたが、割合に家屋の改良の進み方の遲かつたと云ふのは、今までの風俗習慣がソレを妨げて居つたと云ふやうな關係があるだらうと思ひます、勿論歐羅巴の文明が輸入された頃に——盛に輸入された頃には、隨分着物を洋服にする、家も西洋風にしなければならぬと云つて、大變に盛になつたやうでございまして、其頃の勢いではモウ五年か十年を出ずして日本中に西洋造りが軒を並べ、男子は洋服を着し市街を步るき、婦人は洋裝をして矢張り市街中を步るくだらうと存じて居りましたが、今日では男子の洋服少しは行はれて居るが、婦人の洋裝は一向見受けない位であります、是は何故かと云ふに、洋服を拵えても亦一方に日本

服を換へなければならぬと云ふ不便があるのです。家もさうであつて、西洋風に客を應接する部屋を造り、又一方には家族の住まうには西洋風の造りより日本造りにして置く方が都合がよい様に思はれると云ふ様な次第であるのでございます、デ是に就て種々工風して見ますると、ソレを實行するにはナカナカ困難であらうと思ひます、私の考では、着物の變り方がどうあらうとも、家の變り方がどうあらうとも、一度に思切つてやつて仕舞はなければどうしても仕遂げられないと思ふ、殊に今日は是から段々と此社會を形造らるゝ所の令嬢方が御出のやうでございますから、此方々が是から自分で家を御持ちなさる時分に、矢張りさう云ふやうの御考を以て、十分に注意し、初めて家を構へる時からさう云ふやうに用意をすると云ふことに、衣服の改良と家屋の改良と云ふ事柄に大變影響を有つと私は考へて居ります、序でながら前置きに是だけの事を申上げて置きます、

デ私が衣服の改良と家屋の改良と云ふことに就ての意見は別でございますが、兎に角私の専門の學科の上から見ましても、御婦人に色々の病氣が多いことゝ、それから御婦人の體質が甚だ宜しくないことで、それは衛生上運動の不足に基いて居ると思ふことは、家の中に閉籠つて居る為にかゝる結果を惹起すのであらう、私はさう云ふ考を致したのです、ソレは僅か歐羅巴の風を見まして考へますには、何うも西洋の婦人は私どもの眼から見ると外出が過ぎる位ゐに外に出る、日曜や土曜日などには何時も家に居つたことはないやうです、ちよつと今日位好い天氣であると、夫婦連れであるならば二人で手を携へて散步する、若し獨身者であるならば友達を誘ふさか、自分の兄弟を連れて往くとか、又母親と共に郊

外に散步する、さうして其間に十分な運動も出來ませうし氣分も活潑になりませう、それでこそ自分が終日又は一週間働いた所の勞を回復すると云ふことになるだらうと思ふ、併しながら日本では第一に着物が汚れるとか濡れるとか云ふやうな日には出られません、況して夏などは夕立の降りさうな自分には容易に外に出られない、又家に居つても始終座り勝でありますから、起つと云ふことが面倒な爲に外に出ると云ふことが甚だ少ない、起居も從つて少なくなる、座つて居るよりは腰を掛けて居る方が起ち易いのであります、ソレからモウ一ツは衣服の改良は、日本に段々西洋造りが多くなつて來て、アナタ方のやうに斯う云ふ學校に御出なすつても、斯う云ふ會に御出なすつても、椅子に腰を御掛なさるには日本の着物は之に適しない、裾が薄いのに床でも十分に張てあれば未だ宜いのでありますが、床でも不充分であると下から寒い風が來る、腰を掛けて居れば下から冷やされて御出なさるのであると云ふことは、何人が御考になつても見易いことである、ソレが色々の病氣を惹起すと云ふは極く分り易い事柄であると思ひます、夫れ故に少なくとも今までの日本服を用ひましても、其下に股引のやうなものを穿くと云ふことが衛生の爲に必要と思ふ、私が病院で始終患者を診察して居ります時に能く見ますが、近頃は大變短かい莫大小、或はフランテルの丁度膝まで位な股引のやうな物を召して御出になるのを見受けます、ソンな御方が大變殖えて來ました、是は皆さんが衛生上の注意をなさる智識が殖えて來たのであらうと私は悅んで居ります、けれども未だソレを見るのは百人の中に一人か二人であつて、誠に少いのであります、之は皆様の御注意を願ひたいのであります、其外多くの種類の病氣を見まするに、月經時又

は産褥時の不攝生から起つて居りはしないかと云ふやうなものが大變に多い、今日私は不斷皆さんの必要である所の月經時の攝生方法を御話致したいと思ひます、是は細かく御話すれば切りがないことであるし、又ソレを申上げても、なか〳〵日常の生活に實行すると云ふことは困難であるかも知れませんが、併し醫者として、是だけのことが十分必要であると云ふことを御話して置たいと思ひます、私共が御話することはどうも貴婦人令嬢の前で御話することは甚だ憚かるやうなことがありますが、是は醫者として攝生の道をアナタ方に御話するには止を得んことであるから、醫者が攝生の道を御一人〳〵に向つて御話するのであると云ふ御思召で、どうぞ御聽取下さるやうに願ひます、貴婦人や令嬢の前で御話するのは少し禮を失するやうな嫌ひがありますが、其邊は御容しを願ひます、

何處の國へ往つても、野蠻國でも文明の國でも、婦人が月經のことを語ることは矢張り耻づべきことのやうになつて居ります、殊に月經の時に血液が下ることは、不潔な物が下ると云ふ考を以て、不潔であると思つて居ることは、殆ど野蠻な國でも開明な國でも同じであるやうであります、ソレは日本などでも不淨と言ひ、西洋では潔めると云ひ、毎月此不淨の血が去つて仕舞つて躰を潔めると云ふ考を有つて居ります、併ながら是は別段其血が汚ない血でもなんでもない、人間の躰から出る他の血と少しも變つて居らぬ、少しも不潔でない、是は人間の生理的の働きで、凡そ四週間に一週づゝ定期性に來る所の生理的の出血である――極つて出る處の出血である、其時にどう云ふことを爲して宜いかと云ふのに、月經時には婦人の躰と云ふものは最も刺激を受け易くなつて居りまして、僅かの刺激に反應するやうになつ

て居る、例へば平生風邪を引かない位の寒さに逢つても、月經の時には直ぐ風邪を引き易い、平日の時より幾分か精神の感じも強い、悲しみ事があつても平日ソレ程涙が出ない方でも、月經時には多く出る、怒らないことでも月經時には能く腹が立つて來る、總て身躰の働きが一体に盛になつて來る、ソレでございますからして平素から見ると餘程注意しなければならん、月經時には人に依て多少腰の痛みを覺え、下腹の邊に痛を生じ、或は頭痛を覺え、歯の痛を感じ、乳房の處に腫れたる樣な感じ或は痛を起すと云ふやうに、平日とは少し宛違ひます、ソレが段々進んで往つて、真の病氣の中に入れなければならんと云ふやうなことにもなりませう、併ながら極く輕いものは是は殆ど普通の月經時に起つて來る所の變化として、別段氣に留めるにも及びません、唯今御話したやうな、兎に角平日より違ふ所の經過が起つて來るので、病氣に罹り易いと云ふ處があるのですから、此間には餘程注意しなければならない、第一に必要なることは静かにすると云ふこと、即ち安静にして居ると云ふことが必要であります、其次に清潔にすると云ふことが大變に必要であらうと思ひます、安静清潔と云ふことは、月經時の攝生法の中でも最も大切なことである、例へば月經時に車に乘つて遠方を歩るくとか、或は月經時に永く縫物をして居る……日本の婦人は座つて居つて縫物をなさるが、座つて躰を曲げて居ると云ふことが好くない、學校に出て御出の方は躰操などをおやりになるのが最も宜くない、尤も何處の學校でも月經時には躰操をしないでも宜いと云ふことになつて居りますさうですが、私が二三の方に聞いて見ました所では、どうも月經時に御休みになると云ふことが少ないと云ふことを聞きました、是はどうも恥づることではな

い、嚴重に御休みになることを私は望みます、ソレから風邪などをひき易いのですから、餘程大切に風邪をひかんやうにしなければならん、今のやうな半股引などを穿いて居ることは宜からうと思ひますし、ソレから一躰に其時分には、一枚位ゐ着物を餘計に御召になると云ふ位にして居たら大變宜からうと思ひます、日本の流儀の座はると云ふことは、大變能くない、と云ふのは何であるかと申しますると、立つて居つたり或は腰を掛けて居るのよりは、座つて居る方が酷く此血管などを壓へつけて、さうして血液の循環の具合を惡くする、其爲に血液が餘計に腰の邊りに溜るやうになつて、それは動脈血ではない、靜脈血の方が腰のあたりに餘計溜るやうになりますから、月經時には座つて居ることが宜しくありません、少し御話が横道に這入りますが、私どもが病院で病人に向つて靜かにして居らなければならん

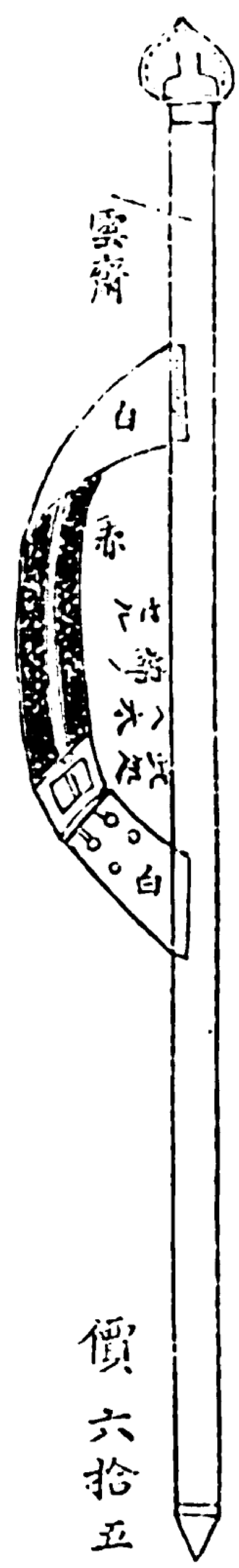
と云ふと、其時分には座らずに寢て御居でなさいと申します、座はつて居つては宜くないと云ふことを確めないで、唯靜かにして御居でなさいと云ふと座はつて居ります、座はつて居る位ゐならば、腰を掛けるとか立つて居ると云ふのと餘りはありません、靜かにと云つても一日も靜かにして座はつて居つたら却て惡い、歩るいたり立つたりして居るよりは害が多いかも知れない、日本では大變面倒で、特別に注意をしないと座はつて居るので、西洋に比較すると面倒であります、ソレは西洋では常に腰を掛けて居つて、座はると云ふことはないから宜いのです、もう一ッは立入つた御話でありますが、是は甚だ斯う云ふ席で御話するのは都合が惡いことで、先に御斷りをして置いた事柄で、安靜清潔と云ふ事柄であります、此安靜にすると云ふことに就ては、是だけ御話して置けば宜からうと思ひます、ソレから清潔と

云ふことに就て、私共度々病人を見ました時に……近頃は皆さんが消毒と云ふやうな事柄を段々と知つて御出になりましたからして、月經の時に血液を外に流れ出させない爲に防禦をなさる、其時に脫脂綿などを御用ひになり、或は消毒した綿を御用ゐになつて居ると云ふことを聞いて居ります、然るに大抵は膣内に挿入して居る、ソレに就て私共が度々手を御貸しまうさなければならないのは、なぜと云ふに膣内に御入れになつたけれども、暫らく經つて出すことが出來ないで、否でも應でも醫者に掛らなければ出すことが出來ぬと云ふやうな、或は產婆の手を借りて出さなければならぬと云ふとがある、スツと奥へ這入つて仕舞つてどうしても出ないと云ふことが起る、併し知つて居る時には左程の害がないが、知らないで居つて、二三日經つて下腹が痛く心持が惡い、大變に下血がするからと云ふやうなことで御出なさる御方を見ると、外には何にも惡い處がない、唯綿を入れたら紙の片を中に入れた爲に病症を起して來る、ソレが其儘膣内に留つて居る時分には害がありませんが、併しソレが子宮の中に這入つて行くと害を起します、其れより喇叭管卵巢の中に病氣を起し易いのであります、甚しきに至りますと骨盤の内に病氣を起す、モウ一層甚しくなると腹膜炎と云ふやうな恐ろしい病氣を起して來るやうなことになります、ソレから一般に日本の婦人は紙を入れて出血を留めると云ふ習慣でありますが、ソレが内にあつて子宮を押す爲に、子宮の中に充血して直ぐに病氣に成り易いのであります、デ殆ど一生醫者に掛つても癒らぬと云ふ位な激しい頑固な病氣を惹起すやうなことがあります、大變にどうも恐ろしいのでありまする、

ソレで私は殊に今日は其事に就て御話致したいと思

ふのであります、紙を用ゆるのも宜しい、脱脂綿を御用ゐになるのも宜しい、又消毒した綿を御用ゐになれば尚更好いのである、併ながらソレを腟内に挿入しないで、外陰部にソレを置くのです、ソコで外に宛てヽ置くにも一寸今此處に持つて來ましたものがございますが

第一圖



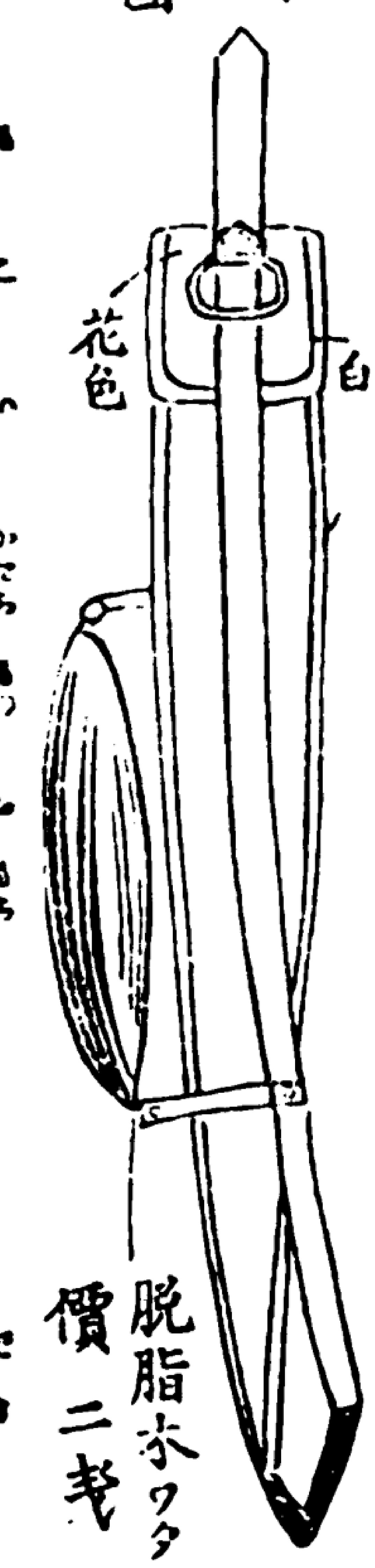

價　六拾五錢

圖のやうな物であります、是は西洋婦人の用ゐる所の月經帶と云ふ物であります、丁度日本の男子が常に用ふる下帶に似たやうな物で、斯う云ふ布で拵えて用ゐれば、大層宜しいです、ソレで頻繁に御取換になるが宜しい、ソレが腰の廻りに廻すやうになつて居る、此ゴムのある部分が外陰部に當てるやうになつて居る、さうして其中の處に用ふる綿の包は、斯う云ふ風に綿に這入つたガアゼの袋のやうな物が出來て居ります、即ち是を外陰部に懸けて居れば、大變に此綿が能く吸收する物でありますから、ソレで少しも外に汚み出すことはありません、奇麗に吸收することが出來る、ソレから此ゴムは尚ほ綿に附いて居る物が外の物を不潔にしない爲に、防禦が出來て居る、ソレから尚單純な物に斯う云ふやうな物であります、

是は腰の回りに廻すやうになつて、鈕があつて綿の附いた處にあるを引掛けるやうになつて居ります、色々の形がある、是は必ずしも斯う云ふ物で御拵えになるとか或は御求めになるには及はん、今日本の男子の下の帶のやうな物を御用ゐになつても宜い、

ソレから綿の袋でも、又は綿のまゝでも宜しい、脱脂した物でさへあれば——殺菌した物でさへあれば、此通りでなくても外に當てゝ置くのは宜しうございます、併ながら若し斯う云ふ形の物を御用ゐなさるに、皆さんが容易すく用ゐられるやうにと平素考へて居りましたが、是は二三週間前に私の知己の人が持つて居つたのを借りて參つたのです、

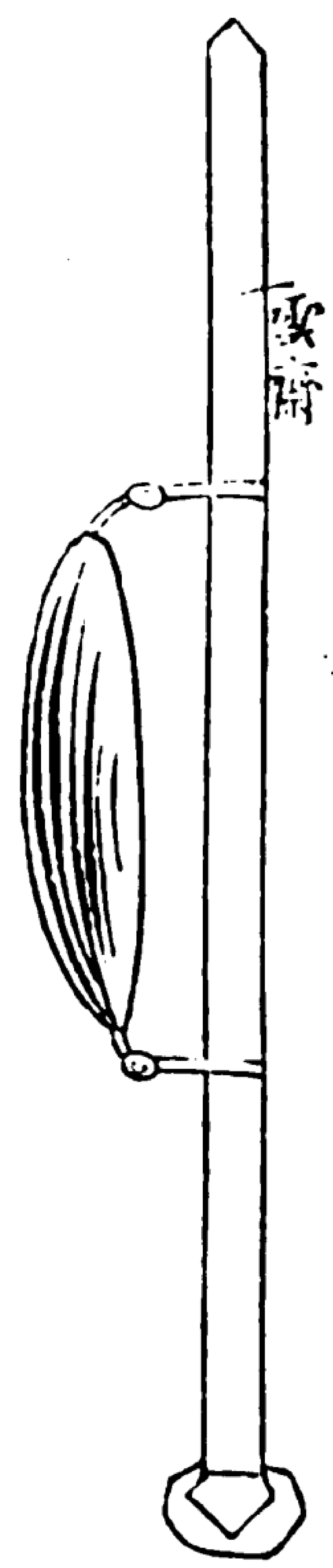
第二圖




價　三拾五戔

價二戔

第三圖



價　二十戔

此形を眞似して發賣をさせたいと思ふて居ります、序でに皆さんにも御覧に入れて置きます、日本で拵えたのは六十五錢卅五錢廿錢の三種類が出來る、ソレから綿が一個二錢位で出來ると云ふことでありますが、月經中に此綿を幾つ要するか、其御方の月經の持續と、其強さとに依つて違ひますから豫め極ることは出來ませんけれども、先づ假りに一ツの月經時に於て、是が一ダースか若しくは二ダース要すると考へて見ても、二三十錢を五十錢迄で足りる、ソレで貴婦人方が安心して月經時の攝生法を守て往くと云ふことに成りますから、一生の病を豫防すると云ふ考であつたならば、三十錢や五十錢は廉いものであります、併ながら私は決して之を必ずしも御求

めになるやうにと御勸め申すのではございません、唯この方法を以ておやりになれば差支へなからうと存じます、モウ一ッは矢張り安靜の中に入るべきものでありますが、月經時に熱い湯に御這入りになるとか、或は腰湯を御使ひになるのは悪い、若し御這入りになるならば、大抵當り前の温度にして、熱い度の湯にはお這入りにならんやうにしなければならん、ソレから腰湯を使ふに當つても熱い湯で腰湯を御使ひになるのは悪い、ソレで腰湯は唯外陰部を清潔にする爲に御使ひになるに止まるが宜しうございます、尚ほ申上げて置きますことは幾らもありますけれども、月經時に關係したことは此位に止めて置きます、

其外もう一ッ此御婦人に取つて大切な事柄は、妊娠、分娩、産褥、之を一言で謂ふと御産でございますが、此れは中々大切な事柄が多いので、一々此攝生のことを御話すると二時間や三時間も[illegible]りするだけの詳細な事柄でありますが、今御話しやうと思ひまするは、其一ッに數へるべきもので、一番忽諸になり易いと云ふものだけを一つ御話したいと思ひます、ソレは何であるかと云ふと流産と云ふことでございます、流産と云ふものは矢張り是も妊娠時の攝生法の足りない爲めに起ることがある、ソレから病氣のあるために流産を起すこともある、兎に角此流産と云ふものは、小兒がまだ大きくなつて居らない、極く小さな時分に生れるのでありますから、普通の月滿ちて産れる時とは總てのことが軽いに違ひないから産後の養生などはしなくつても宜いと云ふ御考への方が隨分世間にはあるだらうと思ひます、併し貴女方のやうに學校にお出でになつて、生理のことや衛生上のことを御聽きになつて居る御方にはさう云ふやうなことはあるまいと思ひますが、世間には

隨分さう云ふ御方が多いことゝ思ひます、所が是が全く反對であつて、一體姙娠と云ふのは、人間の生活の中にあるべき普通のことで、決して病氣と云ふものではございません、病氣でないから十ヶ月の間の姙娠を終れば小兒が産れると云ふことは普通のことであつて、少しも異常の事柄でない、併ながら其時には、矢張り月經の時など同じく僅かなことのために病氣を惹起し易いのでありますから、産後に於ても能く注意しなければなりません、併し兎も角も月滿ちて分娩をした時には——正規の分娩をした時には、總ての機能が常り前に往つて、小兒が十分育つて、子宮なども子供を生むのは適當なやうになつて居る、子供を生むのに適當のやうになつて産れるのでありますから、少しも不都合がない、けれども流産する時には何か不攝生なことがあつたか、勿論何か病氣があつて、子宮の中に病氣があつてさうして其病氣のために起つて來るのであるから、子供も小さく、又子宮も十分に子供を推出すだけの力がない、一體お産と云ふものは、子宮が十分縮まつて小兒を産み出すやうになり推出すのでありますから、子宮の推出す力が弱いと子供だけはどうかこうか出ても、御承知の後産と云ふものが出惡い、或は出ても尙ほ子宮が縮み惡いと云ふやうなことがありますからして、色々下血が出たり何かして、さう云ふ事柄のために矢張り熱が出る、即ち産褥熱を起すと云ふ如き憂がある、其樣なものであつて、一體流産其物が病氣であるから、普通の産と一緒にすることは出來ないものである、それでありますからして、其時は實際病氣に罹つて居るので、普通の産と同じものであると云ふ考ではならない、デ流産の時には、少くも矢張り普通の御産の時と同じやうな考で、十分な養生をなさらなければならぬ、私共が日々病院

で見まする患者の上に付て、病氣の起りを探つて見ますると、流産の後に起す所の病氣が多いやうであります、尤も普通の産後に病氣になつた人もありますが、流産の後に病氣に罹つた人が大變に多いです、細かに數は調べてありませんから御話は出來ませんが、兎に角大變に多いのです、さう云ふ人に聞いて見ると、流産であつたが格別のことはなかつた、御産ではないと思つたから通常の産後程の養生もせずに、或は運動をしたとか旅をしたとか云ふやうなことが大變に多い、此流産と云ふことに付ては餘程注意をしなければなりません、

それから立戻つて姙娠の時のことを少し御話をして置きたいと思ひます、時間が未だ少しあるやうですから……ソレで姙娠の時にはどう云ふことが必要であるかと云ふと、私の御話することは、何時でも安靜が必要です、姙娠の時にも安靜と云ふことが必要である、ソレから又清潔と云ふものが必要である、私の御話することは皆清潔と安靜です、其外には食物とか便通とか云ふやうなことに注意が必要である、併ながら姙娠中の安靜と云ふことは、全く靜かにして居ると云ふことが宜いのではない、適當の運動もしなければならぬ、運動もしなければならんが過度の勞働をしてはならない、日本などでは昔から言傳つてありますが、姙娠婦は高い所のものを取つてはならぬ、重い物を持つてはならぬ、長く蹲踞で居つたり何かすることはならぬと云ふやうなとは、皆御承知のことであります、日本などでは餘りありませんが、西洋では唯今位の時候になると、どうかすると舞踏や何かで姙娠中の攝生を過まる御方があります、兎に角さう云ふやうなことは宜くない、ソレからお腹に永く力を入れるやうな仕事が宜しくない、詰り前に申しました高い處の物を取るのに何故

悪いかと云ふと、お腹に力を入れなければならぬ、其外高い處から飛ぶとか、或は誤つて轉ぶとかと云ふやうなことが宜しくない、能く町中を歩いて居つて下駄を引繰返して膝を衝いた爲に流産を促したと云ふやうなことは、隨分あることであります、是等は怪我ですから仕方がありませんが、併ながら隨分注意をすれば――下駄の緒などに注意すればさう云ふことはないかも知れない、運動はどう云ふ風にしたら宜いか、日本などでは召使でも澤山使つて居る御方は自然運動が不充分であるに違ひない、さう云ふ場合には先づ朝極く早い時分、或は夕方の世間が一躰に靜かになつたやうな時分、夏であればさう云ふ時分です、冬ならば日中の暖かくなつた頃に、距離は幾らと云ふことは定めて言ふことは出來ませんが、自分の身体に相當するだけの散歩をする、出來るならば町の中でなくして少し閑靜な場所をお歩きになる方が宜しうございます、車馬などの澤山通る所でしないで、極く閑靜な所を散歩するのが宜い、塵埃の立たない地を散歩するが宜い、ソレから家の中の細々した事柄は皆御自分でなすつても差支へない、併しさう云ふ仕事をする間にも、十分安靜と云ふ點に注意をしなければならぬ、ソレから着物です、着物も平素と別に變つたことも要しませんが、出來るだけ帶を強くしめたり紐を強く締めることは注意して御避けなさらなければなりません、ソレから着物の序でに御話をして置きますが、腹帶、姙娠をなさると腹帶通常いわた帶と云ふものをすると云ふことが日本では古例になつて居る、或は腹帶を強く締めなければ子供が大きくなつて仕舞ふ、産が重くなると云ふやうな考をお有ちになつて、肌帶を強く締め――隨分物の解つた方でさう云ふことをなさる御方がある、殆ど御腹に條の出來る程強く締めて置く、

さう云ふことをすると子供が大きくなりすぎる所ではない、子供の方にも色々の障りが起り、子宮の方にも障りが起り、お産の時に差支へが起つて怖いことが澤山あります、併し御自分が適度な御産を為すつて、御慣れになつたならば強く締めた方が習慣上心地宜いかも知れませんが、兎に角初めての御方は御苦しいに相違ない、是は習慣であつてモウ規則のやうになつて居ることでありますから、私は絶對的に宜くないとは言はない、御用ゐになるのは差支ありませんが、特別な場合、即ち醫者が命令して腹帶をせねばならぬと云ふ場合には、其云ふ通りに御締めになりまして其外の時は成べく緩るく御締めになり、本統の儀式のために締めて置く、或は自分の家に老人があつて、言ふことを聞いて呉れないと云ふために其人の安意の為に締めると云ふ御考であれば宜しい、併しながらソレをなさるに一つ宜いことがある、ソレは下腹を冷さないで温保すると云ふ利益がある、故に私は決して絶對的に腹帶が悪いとは言はない、醫者が用ひよと云ふ時の外は用ゐたくないと云ふ御方は御用ゐにならぬでも差支へないと云ふこと、ソレから下腹を温かにする外には格別の効能のないと云ふことを茲で御話して置く、

ソレから妊娠の時に注意しなければならぬことは便通です、此便通のことも序に御話して置たいと思ふ、御婦人は便秘に傾いて居る御方が多い、日本でも西洋でもさうですが、男子の便秘に傾いて居る者は少い、どうしても御婦人に多いです、先刻御話した如く座ることであります、一番の原因は座ることが主なる原因となつて居ります、勿論毎日座つてお出でなさる方でも便通のある御方もありますが、此澤山の秘結する方の第一の原因は座はることであります、モウ一ツは習慣から起つて来る、或は我慢をし

て居つて、モッ十針經つて仕舞へば着物たる着物が出來上るとか、或は其一部分が出來上ると云ふ時分に、便意を催しても我慢して仕事を續けるお方がある、其の仕事を了へばモッ忘れて仕舞つて、知らず〱の間に折角便意を催して來た時に往かないために、一時間も經つ間には忘れて仕舞ひます、翌日も亦同じやうなことであると、遂には便秘の癖が付いて仕舞うことがある、ソレで私が度々困つて居ることとでありますが、多く婦人科で療治する病氣と云ふものは、皆骨盤の中にある生殖器から起る病氣で、皆便通とは著しい關係を有つて居る。ヅ直腸の所に便が溜つて來るとソレがために血液の循環の工合を惡くしてきます、其爲めに病氣にでもあるときにはどうも、大變癒し惡い、三日で癒る病が十日も掛かる仕方がないからさう云ふ時は其便秘を通ずる爲に下劑を與へる、ソレを用ひまするとと下劑のために通じがあるのだから自然習慣になつて段々強い下劑を用ゐなければ出ないやうになる、終には極く多量の下劑を用ゐなければならぬと云ふやうなことになる、是は矢張り今申した運動です、運動は便通を助けるものである、ソレから食物を成たけ注意すると云ふことであります、姙娠の時に俗に惡阻と申しますか、其時には食物は何を召上つても宜しうございます、只併ながら不消化な風氣を醸す樣な芋とか唐茄子とか豆類のやうなものは宜くない、ヂ是等は餘り召上ることは便通に宜しくないのでありまして餘り澤山召上ると下痢を起すものであります、兎も角何でも御好みなさるものを少し宛、何度に召上ることが宜しいのであります尤も好んで滋養物を召上りますなれば一番夫れが宜しうございます、勿論是に付て色々の說がございますで、素人方がイヤまづい物を食べると男の子が出來る、うまい物を食べると女

の子が出來ると云ふやうなことを言はれますが、ソレは私が御話するより此次の石川さんの方が專門家で、澤山に實驗が出來て居ることであらうと思ひます、私には此問題は一向解りません、是はモウ私共には一向解らないことになつて居りますから、何しろ滋養物を召上つて、健康な御子供を御拵えになるのか宜からうと思ひます、ソレには此清潔と云ふことに付て餘程必要があらうと思ひます、然らばどう云ふものが清潔であるかと云ふと、先づ第一に湯に這入ること、湯に這入る時には皮膚の表面から色々な穢ない垢を取る其爲に皮膚の表面から身外に拾て丶仕舞ふ筈になつて居るものが都合よく取り去られる樣になる、蟬の皮のやうでありませうが、段々人間に皮がはけて來て段々新しくなるのでありますから、毎日隔日或は三日目位には出來るだけ湯に御這入りになるのが必要であります、ソレから湯に御這入になるには全身浴の方が宜しうございます、腰湯は姙娠中には嚴禁しなければなりません、殊に流產の癖のある御方で御腰湯を御使ひになる方が多くありますが、流產にかたむいて居る流產し易い御方は嚴禁すべきものであります、ソレは勿論冷たい湯と云ふのはありませんが冷水浴などは宜しくない、隨分冷水浴などにお出でになることは餘り好ましくない、併ながらソレ等のことを注意して居つても、病氣があれば姙娠中流產することがありますけれども、それは病氣の爲めであるから仕方がないが、若しさう云ふ時でも攝生法を注意して居ると、幸にして長く保つことも出來ますから、成べく此清潔法と安靜とに注意しなければならぬ、安靜と云ふことは隨分六ケ敷いことであつて、十ケ月間何も仕事をすることなしに居ると云ふことは甚だ六ケ敷い、其間にも重い物を提げなければならぬこともありませう

し、高い所の物を取らなければならぬこともあると思ひます、併し出來るだけさう云ふことは御注意なさるのが必要である、私共が平常流産になつた所の御方に聞くと、或は張物をしたとか洗濯をしたとか、汽車に乘つて長い旅行をし、或は大變路の惡い處を歩いたとか、徒歩で道の惡い遠い處を往復したとか海水浴に行て一日に何度も這入たとか云ふやうなことが大變にありますが、ソンなやうなことに能く注意しなければならぬと思ふ、大抵姙娠中に旅行をなさらうとする時は、其御方が私共に御相談になります、「旅行をしやうと思ふがどうだ」と云ふ御相談になる、例へば是から大阪まで行きたいがどうだらう、流産するやうなことはありますまいかと尋ねますが、さう云ふ時には私はソレは決して保證は出來ません、無論それは惡いことは極つて居りますが、若し或は大阪まで御出でなさることが出來るかも知れない、ソレはどうも私共に其處までは分らないのでありますが、極く安全にするにはさう云ふ道を行かぬのが宜しうございます、先づ大抵汽車ならば一時間や二時間位までの事であれば障りはあるまいかと思ひます、尤も線路の構造が惡く汽車が非常に搖れでもすればそれは分りませんが、さうでない以上は先づ一時間二時間位は大抵差支ないと思ひます、

私は嘗て自分の家族の者を連れて旅行した時に、大膽なことをしたことがございます、勿論自分が一緒に汽車に乘つて、汽車の中で子供が生れても自分が取扱をする事が出來る積りで産に就て若し外に異常なことがあつても手當が出來る樣に用意がしてあるから安心して居る三時間が五時間でも構はない、必要のある時には旅行することが出來る、だけれどもさうでない、他の方には自分で一寸其手當をすることが出來ないから、寧ろ其樣な危險は冒さない方

が宜いです、マダ最も必要なる所の分娩時、産褥時などのことに付て色々御話したいことはございますが、又機會を得て御話を致すことにして、今日は是だけにして止めて置きたいと思ひます、

終りに臨むで一言申上げて置きたいのは、會の雜誌にも御掲載になつて居りましたが、大學の産科婦人科の教室で近頃大に産科の擴張を計つて居ります、殊に官費を以て施療をすることを増すことに致しました、姙娠九ヶ月以上の方であれば、出來るだけの便宜を採る積りです、アナタ方が御出になるには不都合でありますが、或はアナタ方の處に出入をする方々にさう云ふ方があつたならば——大學でお産をして見たらと云ふ人があつたならば、其方に向つて大學には專門家が居つて、大層安心があると云ふことを御話になつて下さるやうに希望します、ソレで産のことは此次に機會がありましたならば御話する積りであります、

ア此産と云ふものは甚だ恐ろしいものであつて、其時に適當の處置をすれば助かる者が、適當の處置をしないために無慘々々死なゝければならぬことがある、尤も私共は神樣のやうな醫者でもありませんから、死なゝいで濟む人を殺すやうなことがあるかも知れませんが、自分では其やうなことはしない積りである、此間も或處でありましたことでございますが、子供は出ても後産が出ない、近所に一人か二人産婆があつたけれども他の所へ行つて居つて來られないために、近傍の醫者を頼むだ所が、子供が産れましたまゝだからマダ臍帶が取れて居らぬ、醫者が手を付けやうがない、仕樣がないので其儘にして置いた、ソコで私共か病院の方から往診しまして、僅か一週御腹に手を當てゝ處置を致しますと後産が忽ち出て來ました、是に先の醫者が決して下手な譯で

もない、つい氣が附かないのであります、敵は矢張産科専門の醫者に賴む方が宜しい

扨ソレが幸にして永く出ませぬでしたから宜しうございますが、若しも醫者が來ない中に或は出て仕舞ふやうなヿがあつたら、其時には折角死なゝいで宜い小兒が死んで仕舞ふと云ふやうなヿが幾らも有ますから、能く此樣なヿは御注意なされて、御忘のないやうに希望致します、此間も私の知人の方に御産があつて、私の所に來て與れと云ふヿでありましたが、丁度私が仕事を仕掛けて居つて手を離すことが出來ませんから、其事を話したら入違ひに子供の生れたと云ふヿを言つて來た、ソレから段々聞いて見ますると、子供が生れて産婆の間に合はないので、産れました子供は臍帶も切らずに其儘にしてありました、其中に産婆が來て漸く子供を取上げて、手を洗つた時分に後産が出たに依つて臍帶を切ることも出來子供が助かつたのです、若し此産婆がモウ十分か十五分も遲れたならば、其子供が死ぬまでにはならぬかも知れませんが、或は死ぬ樣なことになつたであらうと思ひます、

ソレで私共に大變都合の宜しいことは、日本の人は産科の手術でもする樣の場合には親子共死ぬべきものであると覺悟して居らるゝことであつて若し助つた時には悅んで下さる、又不幸にして死ぬと云ふやうなヿであつても諦めてくださる、併ながら私共手術する時には少くも一人を助けたい、多くの場合には親子共助けたいものです、それでありますから若し子供が死んで出て來ても、皆さんが機械まで掛けて下さつて子供が助からんのは仕方がないと云ふことを申されます、私共には誠に都合の宜しいことでありますが、コレが濫用されると困ります、又産婦の家族の方も小供はどうでも宜いから母親丈けは

助けて貰いたいなどゝ申されます、然し私共は母親も胎内に居る小供も同じことです態々胎兒の生命を犠牲にして手術をすると云ふ樣な場合は餘程の非常な場合でありまして母兒兩全の策を謀りまするのが一番大切となつて居ることでありまする、甚だ恐れ多いことでありますが、今度皇太子妃殿下御姙娠と漏れ承りましたが御經過に就ては總て產科專門の侍醫の方々が擔任になり、產婆も矢張り西洋流の新智識のある產婆が御用を承ると云ふことを仄かに承つたのでありますが、事實であるかどうですか私共には分りませぬが、兎に角其位に御上でも分娩と云ふことの大切であることを御信じ遊ばして居らせられるのであり其上アナタ方も常に此の點に御注意を下すつたならば、日本に進步したる學問を應用した產の取扱法が行はれることは、今日が大變宜い機會であらうと思ひます、

猶何時か機會を得ましたならば、產術分娩のことに付て御話をしたいと思ひます、今日は是だけで御免を蒙ります、

○附記　演說中にある月經帶は衞生帶と名附け東京神田區淡路町一丁目壹番地風雲堂後藤節藏方より發賣の筈なれば望の方は同店に就きて購求せらるべし



## 寄書

### 肺病豫防養生法（第十三）

醫學士　竹中成憲君

西洋の喫煙者の多數は談話、車上は勿論讀書、執筆、總て勤務の際葉卷を口にし寸時も之を離さゝるものあり西洋、支那、朝鮮に於ける如く雁首大なれば又

此癖を醸し易し我國の雁首なれば烟管を口にしつゝ徒歩し乘車し書を讀み筆を執る事難く隨て一日の喫烟高僅少なると明かなり經濟に於ても亦最も廉なるものとす

烟草は之を分析すれば明に有害物を含むと雖も百事一得一失あり其精神に及ぼす作用に至ては有益なるものあらん意氣怏々樂まざるとき管を手にすれば百難去て仙境に遊び百般の策盡くるのとき之れを口にせば名案なきにあらず忘草たる所以なり又用法適當なれば善良なる袪痰劑（タンキャルクスリ）ともなるべし現に古き和書にタバコを痰發粉と書きしものあり人多くは云ふ酒は之を禁するに難からず烟草は之を禁ずべからずと

又烟藥は口中の「バクテリア」を殺すの力あり（イタリア學者報告）故に傳染病の豫防となる事あり不潔の場合にあるとき喫烟し口中の唾液を吐出するは明に此豫防の効あり

我國喫烟家の例を擧ぐれば
伊藤侯は百本拾圓の「ヴイクトリア」一日十七本、山縣侯は百本四圓の「トルコ」紙卷一日二十本、黑田伯は百本五圓の「オリエント」一日十三本、西郷伯は百本拾圓の「ヴイットリア」を一日十五本外に上等「トルコ」紙卷、川村伯は百本三圓の「トルコ」紙卷一日二十本等なりと云ふ

要するに烟草は就中我國の風習的此小雁首を以て用ゆるときは無害なるのみならず或は一得一失の原理より推し或は得の大にして失の小なるを信ず老人の大多數は喫煙者なるを以て之を證すべし然れども近年往々目擊する如く丁年に達せざる少年の殊に路頭に喫烟するは拙者も亦諸君と共に之を嫌ふ換言すれば酒も煙草も其害は其用ゆるの量にあるものにして煙草、酒、其物に罪あるものにあらず用ゆるの量を知らざるの人に罪あるなり

又、人、熱氣あるとも煙草の美味變せざる間は恐るゝに足らず煙草美味ならざるに至れば病の重きを知

るべし故に煙草は病の輕重を知るの一助となるなり

諸君知らずや酒を好まざるの人死に瀕するのとき醫師は此人に葡萄酒又は「ブランデー」(日本酒も可し)を與へ人苦痛に病むとき其人に「モルヒネ」を與ふ「モルヒネ」は即ち阿片の成分にして藥劑に阿片を禁じながら一日も「モルヒネ」は醫治に之を缺くべからず是皆其用ゆる人の匙加減に存するなり嗚呼夫れ匙加減や是即ち有害無害の尺度なり

因ニ記ス

〔烟草代用品〕北海道ニ於テハ「ごんごい」ト稱スルモノヲ烟草ニ代用ス又新烟草專賣法實施ノ影響トシテ貧民ハ山漆ノ葉、ドウツ葉、スカンポ葉、桑ノ葉、蕗ノ葉等ヲ用ユルニ到レリト云フ是等ノ有害無害ヲ檢定スルハ今後ノ問題トナルベシ

烟草を用ひ口より數回唾液(つばき)を吐出すは肺病患者の呼氣(いき)を吸ひたるとき萬一にも己れの口中に入たる「バクテリア」(肺病虫)を吐出すの一法となるべし其他直接口中より入り來る傳染病の豫防となる事疑なし烟草毒の爲め口中の「バクテリア」死すとの證明は伊國の醫學者之を公にせり(此項前にも出づ)

兎に角主人は來客の爲め四季の時候を問はず烟草盆を備ふべし烟草盆には痰吐の備あれはなり田舍にては冬期火鉢を客に出すとき同時に烟草盆を出す事殆んとなきを以て客の苦しむ事あり

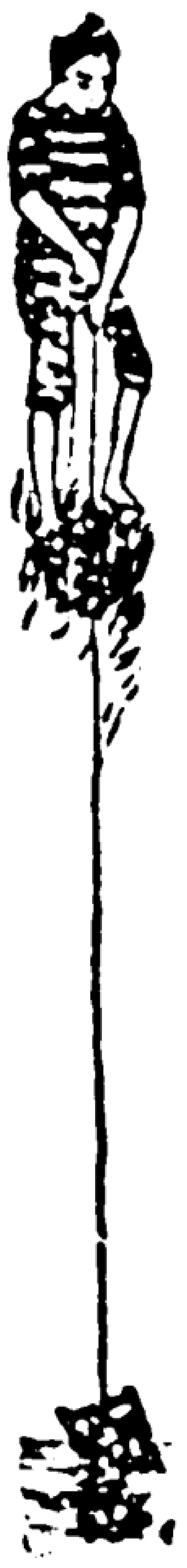
西洋の禮儀として英語にて「ドント、クリアー、ユアー、スロート」(汝の咽を清潔にする勿れ)と云ふ事あり人の前にて痰(たん)をするなと云ふ事なり、尤なる事然れども唾液(つばき)は大底差支なし上等洋人(就中米國)も屡は室の一隅に痰壺を置く

烟草は只其量に於て誤るべからざると倘酒に於けるが如し肺病者之を用ひて咳の出ざるを度となすべし

煙管は疊の上に置かず吸口の所は必ず己れの煙草入

の上に置くべし疊の上には種々の不潔物あり殊に肺病者を訪ひたる時は注意すべし殺其の周圍には實に「バクテリア」の附着しあるやも計り難ければなり知名の士の物せる烟草の說多し烟草の來歷等を詳述しあり然れとも察するに多くは嫌烟家ならむ筆法に其風を見るなり凡そ物の善惡を論ずるとき人は己れの好むものは他人の眼には害ありと思はるゝも之を賞用し假ひ有益なるも己れの好まさるものは之を排斥するの傾あり學者の物を論ずるや宜しく裁判官の如くあるべく神聖にして潔白こそ望ましけれ酒の利害を論ずるものを見るに亦之に同じ嫌酒家は酒を排斥し好酒家は其徳を說くを見るべし菓子亦然り嗚呼

（未　完）





# 衛生叢談

## ◉熱の出た時の心得方

Dr. N. N.

熱は色々の病氣の時出るものであるが、今ま茲に御話しするのは、慢性の病氣譬へば肺病などの人に出る熱ではなく、マラリヤ熱とか、チフスとか、インフルエンザとか、或は又麻疹などの如く俄かに熱の出る病に罹つた時に如何にすればよきやと云ふ事を御話しするのである、勿論熱が出てすぐ適當の醫者を聘して診察を請へば之れに超した事はないのであるが、普通は中々其の運びに至らない場合が多いのである、世間多數の人は多少の熱があるとも之は多分風邪にでも罹りたるならむなどと考へ、發熱の初

期に於ては別に醫者にも見せず藥も飮まぬが常である、尤も世間の人が如斯く考へるのも無理ならぬ事にて、寒冒の時にも同じく熱が出て別に藥を飮まずとも一兩日を經れば自然と治るのが常である、併し前にも述べた如く熱で始まる病は寒冒斗りでなく、チフスも、マラリヤも、痲疹も、インフルエルザも、皆な初は熱で初まるのであるから、發熱の初期にあつては、果して之が通常の寒冒やら或は又チフスなどの如き重き熱病の初めやら、迚も素人には判斷の付かぬのである、只た素人斗でなく醫者でも發熱の初期にあつては判然たる診斷を下す事の出來ぬ場合が屢ばあるのである、昔しの人が風邪は百病の基と云ふことを云つたが、之れは醫學の開けない當時にあつては無理ならぬ事である、

さて前に述べたやうの次第であるから、熱病の初期にあつては、醫者の治療を受けぬのが通常である、此の場合には如何してよいかと云ふに、先つ熱がある事を悟つたらば、體温を量つて見るのが肝要である、之は本誌の看護法の内に委しく記載してあつた樣に思はれるから此には別にくど／＼しく述べぬ事に致すべし、檢温器で熱を量つたらば其の温度と時間を記載して置く事が必要である、又た熱は一度量つた斗りでは十分でない少くとも一日に四度位は量つた方が宜しい、其時刻は朝起きた時と、正午と、午後四時頃と、夜の八時頃とに量るのが宜しい、こう云ふ風に熱が量つてあると、若し病氣が普通の寒冒でなくて、後日醫者に見て貰ふ時に大に診斷を付くる助けとなるのである、

熱が出れば只た體温の上がる斗りでなく、顏も上せて赤くなり脉も呼吸も速かとなり、食慾は減じ喉は渇き小便の出方も亦減ずるなり、

又熱の出る前には、屢ば寒けがする事がある、之が

強くなると病人の顔色は蒼白となり、身躰は震い齒け軋り、殆ど手の付け樣のなき事あり、

以上述べた如き種々の症狀があつたらば、病人は身躰を動かす事は甚た宜しくない、靜かに褥に臥して頭痛にてもあれば氷なり、水なり、にて頭を冷し、喉が渇けば氷の片なり或は湯さましなり或は鹽酸リモナーデなりを少量つゝ與ふべし、夜具は成る可く輕きがよし患者の精神を勞するが如き事は必ず之を避けねばならない、されば職業上の事柄や、家事向きの事や込入つた話は一切禁物である、又多人數が病人の枕元に集つたり、或は枕元を駈け廻るなどは甚だ宜しくない、病人を寢かせる室は看護法の病室の部に書いてあつた樣な室が宜しい、即ち家の中にて最も清潔な空氣の流通のよい部屋が最も適して居る、

次に最も注意を要するのは、患者に與へる食物である、熱のある患者は總して食慾が減するのであるが、さりとて又決して食物を廢すると云ふ程にも至らないのである、殊に患者は食するものが皆な不味であるから此や彼やと色々のものを請求する、甚たしきに至つては頗る不消化の有害のもの迄も請求するのである、されば家人は十分注意して、病人に無害の食物のみを撰みて與へなければならないのである、之れには最もよいのは牛乳とをも湯である牛乳には少量の砂糖を混ずるも差支へなし、又をも湯には鹽なり醬油なり或は又砂糖を加へて輕く味を付けるもよし、牛乳をも湯の飮めぬ患者にはくづ湯を與へてよし、

此の病人に與ふる食物を注意する事は熱病患者には非常に必要なる事にて、殊にチフス抔の患者にては病氣の初めより食物を注意したるものと、然らずして不消化の食物を與へしものにては、其の治り方

に非常に差別を生ずるものである、輕症のチフス患者にても其初期に於て食物の注意を怠れば漸次症狀增惡して悔ゆるも及ばざる結果を引起す事甚だ多し、

されば一家に熱を發したる人ある場合には、前に述べたる如くにして手當を成し、一兩日を經るも病狀快癒する模樣見へざれば、之れ決して通常の寒冒にあらざれば速に醫師を聘して十分の治療を請ふべし、勿論發病後直ちに醫師にかければ、之に過したる事はなきなり






## 普通看護法（第七）

在大學院　Dr. T. S.

記者一月以來病氣にて、久しく入院致し居りたる爲め、本欄の起稿も出來ず、屢々愛讀諸姉より、御催促を忝ふしたるは、誠に申譯けなき次第なりき、幸に病も平癒したれば、本月より再び稿を續くる事となれり、

さて前回まで病室の事、體溫、脉搏、呼吸の量り方、尿大便などの仕末方などに就きて述べたれば、今回よりは、看護をなさる方々の心得置かるべき、小技術に付きて御話し致す事にすべし、

## ◉第一　浣腸の事

浣腸と申しますると、世間では唯だ便泌の時、即ち大便の通じが悪き時にのみ、用ゆる樣に考へて居りますが、其實病人に浣腸を致します場合は、唯だ便泌の時に通じを付ける計りでなく、此外にも又た色々の目的に向つて浣腸を致します、今ざつと浣腸を其目的に從ひて區別致しますれば

### 1　催下浣腸

此れは前にも申上げました通り、世間で最も多く用いる浣腸で御座いまして、病人が通じがなくて其爲に苦しむは勿論、色々と悪しき症狀を起す患ひのあります時に、用いまする浣腸で御座います、浣腸と申しますのは、皆さまも御存じの通り、一定の流動物を肛門から腸即ち百尋の中に注ぎ込む事で御座いまして、從つて之には一定の流動物即ち藥品なり食物なりと之を注ぎ込みます器械とが必要で御座います、

催下の目的に用います藥品に色々御座いまするが、通常用ゐますのはヒマシ油、食鹽水、石鹸水、グリスリン等であります、

ヒマシ油は凡そコップ一杯位を用ゐます、

食鹽水は、凡そ一合五夕乃至二合五夕位の微温湯或は冷水の中に一食匙の食鹽を解かして之を用ゐます、尤も場合に依りては別に食鹽を加へず、唯だ微温湯或は冷水のみを浣腸する事が御座いますが、之は遙かに効用が少う御座います、

石鹸水を製しますには、凡そ一合五夕乃至二合五夕位の微温湯或は冷水を金盥の中に入れまして、其中に普通の石鹸を解かしまして、丁度微温湯なり冷水なりが指と指の間でヌラ〳〵する位を度として之を浣腸するのであります、

グリスリンは水と等分に混せまして凡そ二十グラムから三十グラム位を用ゐます、

右に述べました藥の分量は、大人に付て申したのでありますが、小兒に浣腸します場合には、凡そ其半分以下を用ゐれば宜しう御座います、尤も小兒の年齢に依りまして分量も異なりますから其都度醫師に御問ひになるのがよろしう御座います、

さて右に述べましたる藥で浣腸致しますには、夫々一定の器械が入用で御座います、今ま私共が普通用ゐて居りますのは、石鹼水及び食鹽水の場合には、イルリガートルで御座います、之はガラスの容物とゴム管と其先端に付て居りまする角或はガラス製の管から出來て居りまして本鄕邊の醫療器械店にては何處でも賣つて居ります、勿論之に限らず子宮を洗滌致しまする時に用ゐまするイルリガートルでも宜しう御座います

此の器械で浣腸を致しますには、二人で致すのが宜しう御座います、先づ浣腸致す前に、油紙を腰の下に布き、其上に便器を載せて丁度肛門の下たの處に當てがひ置きましてから一人はイルリガートルのゴム管の先端の處を拇指と人差指てつまんで置きましてから藥をガラスの器の中に移すので御座います、夫れから一人は右の人差指で油なりグリスリンなりを角の管の先端と病人の肛門の處に塗り付て後ち靜かに左の拇指と人差指て病人の肛門を擴げながら、角の管を凡そ一寸斗り肛門の中に入れるので御座います、此に於て他の一人に合圖してゴム管をつまんで居る指を放して藥の入れる器を靜に高く上げますれば、藥は段々に腸の中に流れ込むので御座います、藥が悉く流れ込みましたれば、角の管を抜き去り通便のあるのを待つて居るので御座います、

グリスリンで浣腸致しますのには、栓子浣腸器を用

ゐます、之は通り硬きゴムとガラスの管から出來て居ります、之で浣腸致しますのには前と同じ樣の用意を致して置いて、次きに茶碗に注入する丈のグリスリンを入れまして之を浣腸器の中に吸ひ上げてから浣腸の先きにグリスリンを付け前と同じように肛門から注入するので御座います、

2　下痢を止める爲めの浣腸

之れには凡そ二食匙程の澱粉に凡そ六夕程の湯を入れてかきまぜて後ち其冷却するを待ちてイルリガートルなり栓子浣腸器にて注入するので御座います、勿論今まで述へましたのは、大人の分量で小兒には其半分で宜しう御座います、

此の澱粉を解かしましたのに、阿片丁幾數滴を加へますと大に効能がありますが此の藥は危險なものでありますから、決して醫師の命令なくしこ用ゐてはいけません、殊に小兒には阿片は恐るへき危險を引き起すもので御座いますからよく〳〵注意を要します、

3　病人の精神を休める爲めの浣腸

此れには色々の藥を用ゐますが、之は醫師より御貰ひになるのが最も安全で御座います、此浣腸に用ゐます藥は大抵分量が少う御座いますから栓子浣腸器を用ゐれば宜しう御座います、

4　腸を洗滌する爲めの浣腸

之は赤痢等の如き直腸に病氣のある時に用ゐるので御座いまして、多量の水にザルチルサン、明礬、過滿俺加里、醋酸鹽、單寧などの如き藥品を加へて之をイルリガートルで注入するので御座います、

5　熱を取る爲めの浣腸

之は重もに小兒に用ゐるのでありまして、冷水或は氷水を注入するので御座います、併し此の浣腸は假令小兒が熱がありましても、醫師の許しなくしてな

さつてはいけません、

(6) 滋養浣腸

之は食道癌、胃癌の樣な病人で食物を口から取る事の出來ぬ人に致すのでありまして豫じめ腸の中を多量の微溫湯で洗滌して後ち一定の滋養品譬はソップ、牛乳、卵黃、ブドウ酒、砂糖なとを色々に調合して肛門から入れるので御座います、此等滋養品の調合は、醫師にも色々と考ひのある事で御座いますれば、其都度御問合せになるのが宜しう御座います、






# 內外實用料理法（第七）

横井たま子

## 春の部料理法

### ◉枸杞めし

枸杞の芽を摘み水にてよく洗ひ熱湯を懸け暫時水に浸してよく絞り細かに刻み燒鹽をふりかけ置き、常の飯を焚鉢にうつしながら交るなり

### ◉鯛鮃の新料理

鮃としいへば又しても煮付けに鹽燒もあき〱したればと仰らるれば此二料理は時にとりて新工風なれば試み給へ

### ◉鯛と鮃の田樂

いづれの魚にても中切身にし串にさして白焼し木の芽味噌をつけて又ざつと焼き串のまゝ皿に盛りて客に出すべし、但し木の芽味噌の作り法は、木の芽を摺鉢にてよく摺り味噌を入れて能く〳〵摺るなり、(始めに味噌を篩にてこせば尚さらよし)味りんと砂糖を入れて又摺り交るなり之は温かなるうちに食すべし

◉鮃の酢味噌

鮃を切身にしちよつと鹽を振りかけ湯でゝ皿に盛り、わけぎを(細き葱のるいなり)之もざつと湯でゝ三四本つゝ揃へて結びて兩はじを切り捨て盛合にし、木の芽を摺り交ぜたる酢味噌をかけて出すわつさりとして春期には尤もよし、味噌の作り法は前と同じ

◉洗ひ味噌汁

洗ひ味噌汁の仕方は、鰹だしの汁の中へ岡崎味噌をからき(味噌なり)摺らずに其まゝ篩にて裏ごして入るなり、味噌は多からぬをよしとす、嫁菜、たんぽゝつく〳〵し、抔取まぜて入るれば時にとりての吸ものによし

◉筍と獨活と鳥のうま煮

筍を湯でゝ暫時水に浸し程よく切り、獨活も皮をむきざつと湯でゝ亂切りにし、初め鳥の切身を、味りん、砂糖、醤油、にて甘く煮て他の器に引わけ、其汁へ又さらに味りん、砂糖、醤醤をたして筍と獨活を入れてよく煮へたる時前に引わけたる鳥を一ツに交ぜ、花鰹を(うすくかきたるものなり)、振かけて又ざつと煮るなり、而して鉢に盛り木の芽を上置きして客に出すべし

◉筍と款冬と椎茸のごもく飯

款冬を湯でゝ皮をむき、二三分程に切り、筍も湯でゝ一分程の薄さにきり椎茸はちよつと丸のまゝ水に

ひたし洗ふて細く切るのみ、筍を先に、款冬を跡に醬油とふくぬき砂糖にて薄鹽に煮て其殘り汁に又醬油砂糖をたして椎茸を煮るなり、米は常の如く水加減して醬油を少し入焚込み、飯鉢にうつしながら、三品ともにかき交にすべし

●會津若松の名產、三五八漬

餅米八合、麴五合、鹽三合、又は八升、五升、三升、の割合、初め餅米を蒸して多きは從の上少きは鉢の中へ入れ暫時蒸發氣の立ち去る後鹽麴とをもみながらよく交ぜて冷たる時瓶の中に入れよくおしつけ蓋をして年中貯へ置き、魚類、野菜、時期のものを此の、三五八にて漬るなり、旅行先まで持參して、鹽魚、生魚、香の物など漬るには中々便利よし

●鯡の三五八漬

鯡を米のとぎ汁に半日浸し又更に水に一日位ひ浸し柔かになりたるものを、一寸五分位ひにきり三五八を振りかけて、おしをかけ兩三日過ぐれば漬きかげんとなる生にて三杯酢かけても又燒きて食するもよし、何魚にても生より直に漬てよろし、野菜は、細根大根、かぶら、茄子胡瓜など生より直に漬て食すべし實に美味にて粕漬よりもまさる事數等今が作り時き讀者は必ず試みたまへ

## ●西洋料理法

●ジヤガ芋と牛乳のスープ

始めジヤガ芋を湯でゝ皮をむきよく摺り而して牛乳を鍋にて沸立て摺りたる、ジヤガ芋をぞろ〳〵になる程の加減に入れよくかき廻し鹽にて味つけ温き時に食すれば牛乳の香もなく洋食を好まぬ者にても是は氣に入る事妙なり

●搗肉の團子燒

牛の搗肉（是は器械にて搗出したる肉なり此器械は大方の店に備へ付けあるべければ購ふべし）若搗肉の間に合はざる時は肉を極めて細かに刻み之を摺鉢に

入れてよく搯り一斤の肉なれば麵包半斤の皮を去り柔らかき部を手のひらにて、もみくづして肉とよく捏交だ玉子二個を入れ適宜の胡椒と鹽を和して味を附け更によく混和して團子の如く丸め饂飩粉を振りかけ金櫛に貫し文火にて燒くべし之は隨分味ひ良きものにして强ち洋食に限らず日本料理の菜に用ふるもよし



# 中外彙報

◉米國の結婚制限案

米國ミネソータ州會議員チルトン氏は同州會に年齡四十五歲以上の婦人の結婚を禁ずべき法案を提出し婦人間に少なからず恐慌を惹起したりと初め此法案提出せらるゝや世人は之を以て一笑に値せずとせしが案外にも右は議院及び醫師に歡迎せられ今や婦人社會は其通過せんことを恐るゝ程なるよし初其法案提出の趣意は四十五歲以上の婦人は最早や結婚すべき正當の理由なく又その生みたる子は概して身躰孱弱にして又種々の罪惡に感じ易しといふにありと

◉老幼者同衾の害

この程西洋の或る書物を閱たるに二三、四歲位になりたる健康の兒を一年か二年のあいだ每夜老衰したる祖父又は祖母と同衾せしむれば其の小兒は必ず死亡を免かれざるべし其の故は老人の身體は適當なる動物電氣の不足を生じ、又小兒の動物電氣は、其身體に充滿せるを以て自然の平均法は忽ち、小兒の電氣を移して老人の體中に入らしむるが故に、小兒は其供給に堪へずして、終ひに平均法の爲めに制せられ、到底生命を保つこと能はざるべし云々と云ふにあり

蓋し同衾したる小見は凡てか死に至ると限るにはあらざれど實際の上より見る時は小見の健康に取りて利益のある事にはあらざるべし我國に於ては昔より斯る弊風非常に行はれて小見は老人と同衾するを普通の様に心得て居る様なれど衛生の上より言へば母親にても成るべく小見と同衾せざる方宜しかるべしと云ふ　（人民）

◉昨年下半期の死亡者

府下市郡に於ける昨年下半期間の死亡者統計に就き此程東京府に於て調査したる者を掲ぐれば左の如し

| | | | |
|---|---|---|---|
| 傳染病 | 二、三三九人 | 發育及營養的病 | 二、六九一人 |
| 皮膚及尿病 | 一二五 | 骨及關節病 | 一六六 |
| 血行器病 | 八五一 | 神經系及五官病 | 四、八二八 |
| 呼吸器病 | 五、〇二三 | 消化器病 | 三、六一三 |
| 泌尿及生殖器病 | 七〇五 | 外因變死 | 四二五 |
| 中毒症 | 三五 | 病名不詳 | 一九 |
| 總計 | 二〇、八二〇（内男一〇、八四四女九、九七六） | | |

◉瓦斯消毒所のフォルマリン

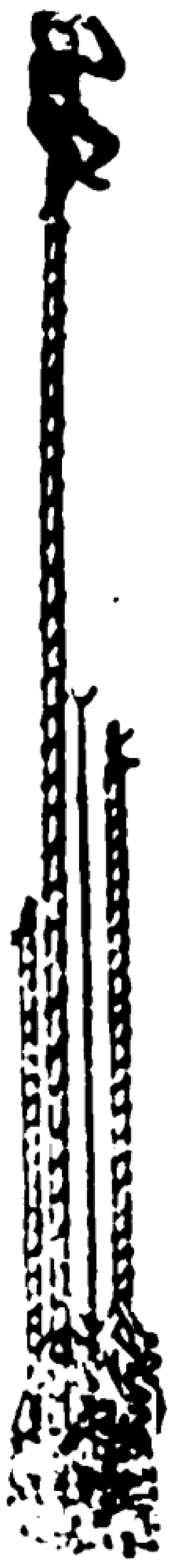
理髪具消毒用の藥品中フォルマリンは無色無臭なるに加へて器具に酸化作用を起さゞるを以て他の藥劑より便利なるが外狀宛も蒸餾水と差異無き爲め往〻無効なる溶液を販賣するものあれども衛生試驗所長田原博士の監督する淺草松葉町東京瓦斯消毒所にては純粹のフォルマリンを販賣する由

◉サッカリン取締規則の制度

近年サッカリン益〻輸入して砂糖代用に飲食物に使用するに至るならんとす其筋の調査に據ればサッカリンは衛生上有害なるを以て之が取締規則の制定を爲すの必要ありとて衛生局にては目下調査中の由なるが現にラムネ製造などにはサッカリンを使用し居たるもの少なからずと云ふ

◉牛疫猖獗と取締

過般來東京市内に流行せる牛疫は益〻猖獗を極め昨今全市に傳播せんとの實況あるに付き警視廳に於て



は大に之が取締を勵行し病牛は勿論健康牛と雖も同一牛舍に飼養せるものは夫々撲殺して豫防方法を講じ又一方には牛羊豚の出入に關しても病毒發生地の附近は區域を制限して其出入を嚴禁し居れるにも拘はらず中には其筋に病牛發生の屆出を爲す前に同一牧舍内にありたる畜牛を他に轉賣し爲に其病毒傳播區域をして益々擴大ならしむるが如き悪弊あるより此際其出入に關し一層嚴重なる取締を爲す見込なりといふ

●禿頭病

禿頭病流行に就ては其筋に於ても充分の豫防法を講ぜられ理髮業者中屢々停業を命ぜらるゝものも多きが東京府下に於ても各區とも未だポツ〳〵發生して終熄に至らざるが神奈川縣の如きは昨年より去月迄の新患者五十八名初發來百十四名に達せしといふ

●女子美術學校設立

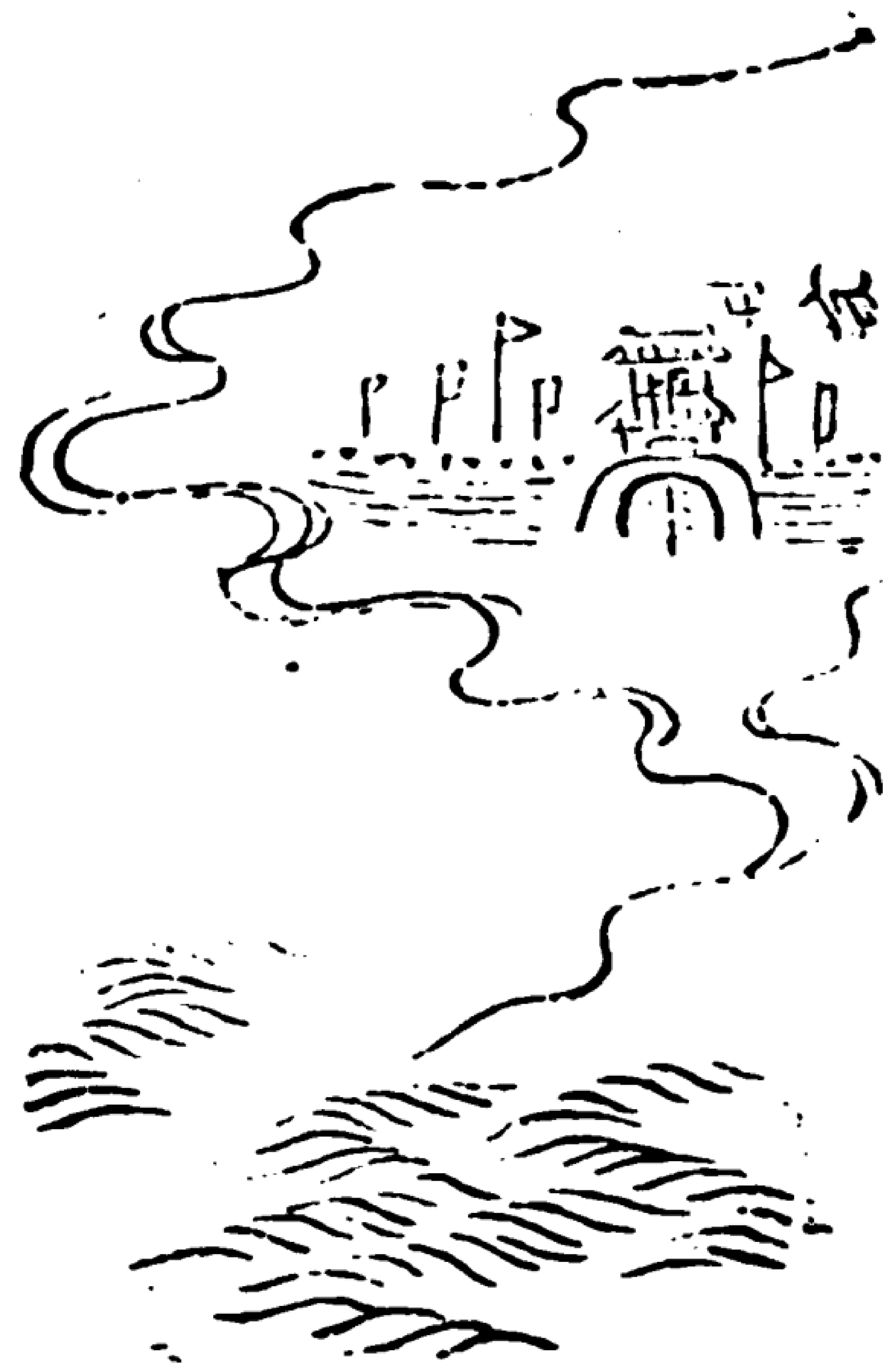
豫て噂のありし女子美術學校を本會料理の講師たる横井たま子外數名の盡力によりいよ〳〵設立せられ去八日開校式を擧げしに入學申込のもの既に百餘名に達し頗る好况なりといふ其詳細なることは本誌廣告欄を見られよ

## 養生談片

不姙症は重もに女子に多しと云へども、男子にも女子ほど屢々にはあらざれども生殖機能の障碍あるを以て、強ち女子を攻むるは誤まれるの甚たしきものなり●女子の不姙症は生殖器の障碍あるもの、毎月月經と共に卵子を排出せざるもの、ヒステリーに罹りたるもの、此症に罹るときは受胎せさるを通例とす、其重きに至りては遂には石婦に化すべし（昔は子を孕まぬものは三去の内に算へられたれども今の

民法は然らず）●受胎の統計ハスレル氏の調査によれば、二百四十八の姙娠者の中にて二百五名は、月經の起りし日より十四日以内、二十三名餘は月經の終りし日より十日以内に交はりたるものなりしと、此實驗によれば最も受胎し易きは月經後八乃至十日間なるが如し●然れども人によりて多少の差違あるへきを以て之を廣く解釋するときは、月經前二三日より月經後十五六日間を以て受胎に適當なる時期とす●古川醫學士の說に月經なる者は一種の産なり、即卵子を産む兆なるが故に從て分娩よりも出血少し、（規則は七日間にして血量は二百グラム迄とす）●去れば月經直前に交れば懷胎の望なれども、實際は之に反して月經後兩三日に行ふ方最も有効なり●出産豫定、たとへば明治三十四年三月十五日は最終月經の月なりと記臆すれば、七日間月經通じたるものと假定して七日を加へ二十二日となる、夫れより後へ三ヶ月を引き去れば即ち明治三十四年十月二十二日が分娩の豫定にして、僅か兩三日の差ありと知るべし●御産の時は外陰部は毎日少くも三回は温湯か或は微温くよわき五十倍位の石炭酸水にて洗ひ清よめ、脱脂綿、綿紗等にて悪露を吸收せしめ、之を處置するものゝ手指に極めて清潔になすべし●月經時代とても前と同じくよく清潔に支度をなすべし、木下醫學士の談にも塵り紙若くは淺草紙等のゴミの、内陰部に侵入せるものは治療上困難にして是等は皆月經時代に限りに紙をツメ込みしが爲めなるべしと●されば本誌木下氏の講演中にもある如く同氏の考案に係る外國製を折衷したる月經帶は極めて安全にして價廉なれば其利便少からざるべし●女の陰部は動もすれば汚れ易く害毒を受け易きものなれば平素充分清潔にするを要すさりとて清潔にすればとて強よく洗ふ等のことは焮衝を招く本なれば

これも又注意すべきことなり



●東京帝國大學第二醫院寄附（追加）

金五圓　東京　京橋看護婦協會
金五十錢　仝　馬場きく子
金二十二錢　仝　福羽てい子
金三十錢　栃木　近藤てい子
小計　金六圓〇二錢也

●本會評議員確定

本會評議員は先頃來照合中の處いよ／＼巻首に掲出の通確定致し候間御了承有之度候也

---

# ●本會入會者

○宮城　佐村みき子紹介
●宮城縣角田中町二百七十四番地　通常會員　佐藤たま子

○甲府　窪田貞子君紹介
●山梨縣西山梨郡里垣村　通常會員　在明せい子
●仝上　通常會員　口出ひで子
●仝上　通常會員　日向ひさ子

○仝　深澤清賢君紹介
●仝　巨北摩郡若神子村字穴平白介力　通常會員　歌田うめ子
●仝　仝郡増富村二百三十三番地　通常會員　小尾志う子

○日本橋　前田富美子紹介
●横濱市辨天通三丁目五十三番地　通常會員　前田佐多子

○新潟支會より再入
●札幌北三條東三丁目三番地　通常會員　撫養きさ子

○事務所へ申込
●四谷區傳馬町　特別會員　樋口英子
●長崎縣西彼杵郡高濱村百六十　通常會員　弘生ニ非子

◎宇都宮支會入會者

○石井靜子紹介
●宇都宮市小幡町　通常會員　堀よね子
●仝市小幡町　通常會員　德永たき子

●宇都宮市二條町　通常會員　內田きし子

○鈴木よし子紹介

●宇都宮市松ヶ峯町　通常會員　和田滿壽子

○大久保つる子紹介

●宇都宮市杉原町　通常會員　田野邊ふじ子

○溝部いく子紹介

●宇都宮市四條町　通常會員　小堀うめ子

○信州碓田ぶん子紹介

●信州諏訪郡上諏訪桑原町九〇八　通常會員　武居すほ子

○上野三浦ふみ子紹介

●上野國新田郡五丁目百四番戸　通常會員　矢浪秀子

○三重縣　安岡やすへ子紹介

●三重縣津市宇治山田町立病院内　通常會員　森とう子

○事務所申込

●牛込區岩戸町三廣瀬方　通常會員　關野秀子

●麹町區下二番町回生病院内　通常會員　原つね子

●芝區愛宕町北里病院内　通常會員　笠原千代子

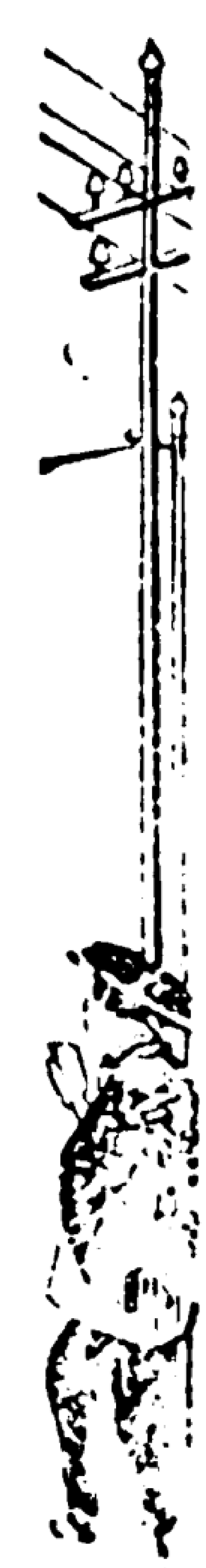
●仝　所　通常會員　千葉みよ子

○本郷　小山花子紹介

●小石川區關口臺町子爵岡部邸内　通常會員　藤澤さつき子

○京橋　新山きく子紹介

●山口縣阿武郡須佐村　通常會員　大岡茂登子



## 轉居

會員諸氏御轉居の際は乍御手數事務所宛必ず御一報相願候

●德島縣野郡川内村大字宮島村へ　筧かめ子
●神田區猿樂町十二番地小林方へ　矢野德代子
●牛込區市谷加賀町二丁目二十番地へ　安藤作子
●神田區小川町一番地河田方へ　牧野ふみ子
●群馬縣碓氷郡東横野村大字中野谷村へ　多部ちう子
●高知市鷹匠町へ　野並三種子
●福井市寶永下町忠見方へ　鹽澤翠子
●神田區錦町丁十九關しげ子方へ　關すが子
●横濱市尾上町五ノ七十七横田方へ　湯淺政代子
●牛込區河田町小笠原邸内へ　澁田見まき子
●札幌北三條東三丁目三番地へ　撫養きさ子
●大阪市東區南本町三丁目四田方へ　林くま子
●麹町區富士見町六丁目七番地へ　賀茂東美子
●三河國豐橋町河合病院へ　田中さだ子

（未完）

明治三十四年四月十五日現在

# 私立大日本婦人衛生會本支會役員並會員名簿

（第一號）

私立大日本婦人衛生會

此名簿中住所氏名に錯誤遺漏若しくは移動あることを御發見の節は乍御手數本會事務所宛詳細御報告被下度特に御依賴申上候也

明治三十四年四月十五日

東京市牛込區矢來町三番地

私立大日本婦人衞生會事務所

# 大日本婦人衞生會本支會役員姓名

總裁　小松宮依仁親王妃周子殿下

會長　侯爵夫人　鍋島榮子
副會長　濱尾作子
幹事　（姓名イロハ順）鳩山春子
仝　羽田三緒子
仝　穗積歌子
仝　岡田德子
仝　高木鉎子
仝　松平芳子
仝　三浦敎子
評議員　石川さだ子
仝　濱田捨子
仝　仁禮壽賀子
仝　西升子
仝　子爵夫人　西静子
仝　德富静子
仝　緒方悦子
仝　岡山とし子
仝　男爵夫人　加藤鈴子
仝　男爵夫人　川口直子
仝　吉武輝枝子
仝　子爵夫人　田中いよ子
仝　丹波貞子
仝　高橋孝子
仝　男爵夫人　南部隈子
仝　中濱芳子
仝　山本多穗子
仝　伯爵夫人　松平充子
仝　馬渡玉子
仝　松前藤子
仝　松井正子
仝　子爵夫人　秋本宗子
仝　宮本樂子
仝　三宅ふじ子
仝　宮下咲子

## 新潟支會役員

名譽會長　柏田ます子
會長　小柴きく子
副會長　竹山れつ子
理事　中村しげ子
幹事　稲津しん子
仝　加藤かう子
仝　田代てふ子
仝　松野なほ子
仝　河上ふさ子
評議員　池原きん子
仝　今井すみ子
仝　長谷川せん子
仝　若杉きく子
仝　神尾つや子
仝　鍵富孝子
仝　吉田きよ子
仝　吉村きよ子
仝　田村みち子
仝　高橋たい子
仝　土田とめ子
仝　都築すが子

仝　中村きん子
仝　安原なみ子
仝　古閑初瀬子
仝　坂本いち子

千葉支會役員

幹事　高梨みつ子

山形支會役員

會長　岡村子
副會長　安村勝子
幹事　沖野りう子
仝　國井よしを子
仝　北川さた子

宇都宮支會役員

會長　溝部いく子
副會長　石井せい子
幹事　高崎うた子
仝　中島とみ子
仝　淺田とみ子

# 府下贊成員及本會講演者

（姓名いろは順）

醫學博士　入澤達吉君
理學博士　飯島魁君
ドクトル　伊澤信平君
色川圀士君
醫學士　伊東祐彦君
ドクトル　飯盛挺造君
醫學博士　伊藤隼三君
赤十字社內科主管　岩井禎造君
理學博士　石川千代松君
貴族院議員　浜尾新君
醫學博士　濱田玄達君
法學博士　鳩山和夫君
醫師　萩原彌四郎君
醫學博士　芳賀榮二郎君
衞生局長　長谷川泰君
醫學博士　緒方正規君
醫學博士　土肥慶藏君
醫學博士　岡田和一郎君
醫學博士　大澤謙二君

大竹茂吉君
醫學士　大西秀治君
醫學博士　大澤岳太郎君
一等藥劑官　恩田重信君
小澤卯之助君
和田豁三郎君
男爵　加藤弘之君
ドクトル　加藤照麿君
醫學士　賀古鶴所君
醫學博士　河本重太郎君
醫學博士　樫村正德君
醫學博士　片山國嘉君
ドクトル　金杉英五郎君
ドクトル　高山紀齋君
醫學博士　高木兼寬君
貴族院議員　高木豊三君
醫學士　田代義德君
男爵　高崎正風君
醫學士　高田耕安君

藥學博士　丹波敬三君
藥學博士　田原良純君
醫學博士　坪井次郎君
大日本教育會々長　辻新次君
理學博士　坪井正五郎君
速記家　佃與次郎君
男爵　南部𨉷男君
中央衞生會々長　長與專齋君
ドクトル　長與稱吉君
理學博士藥學博士　長井長義君
醫學博士　中濱東一郎君
醫學博士　隈川宗雄君
醫學士警視廳第三部長　山根正次君
醫學士　山田鐵造君
山本作三君
元大審院判事　馬屋原彰君
醫學士　丸茂文良君
衞生試驗所技手　丸山長四郎君
松山病院長　松山棟庵君
ドクトル　小此木信六郎君
盲啞學校長　小西信八君
醫學士　古川榮君
布施正顯君
帝國大學教授　エ、ベルツ君
醫學士　甲野棐君
文部書記官　寺田勇吉君
子爵　秋元興朝君
前軍醫總監　足立寛君
ドクトル　新井古芳君
醫學博士　佐々木政吉君
ドクトル　朝山義六君
醫學博士　佐藤三吉君

醫學士　櫻井郁二郎君
櫻井光華君
齋藤清文君
醫學士　櫻井恒二郎君
佐竹勝兵衞君
ドクトル　榊順二郎君
醫學士　北村精造君
醫學士　木下正中君
ドクトル　北山乙二郎君
岸田松次郎君
醫學博士　三浦守治君
醫學博士　三浦謹之助君
醫學士　三島通良君
醫學博士　三宅秀君
理學博士　箕作佳吉君
小兒科專門　宮本仲君
醫學士　三輪信太郎君
醫學士　島村俊一君
伯爵　土方久元君
醫學博士　弘田長君
樋口藤次郎君
森利平君
ドクトル　須田卓爾君
醫學博士　高橋順太郎君

（地方贊成員）

醫學士　木下正中君
醫學博士　栗本東明君

# 大日本婦人衛生會會員姓名（東京府下の部）



## 終身會員の部（姓名いろは順以下同上）

| | | |
|---|---|---|
| 本郷區三組町八十六番地 | | 石崎つる子 |
| 小石川區金富町三十三番地 | | 濱尾作子 |
| 小石川區音羽町七丁目十番地 | | 鳩山春子 |
| 麹町區上二番町四十四番地 | | 加藤鈴子 |
| 京橋區築地三丁目四番地 | 男爵夫人 | 花房千鶴子 |
| 神田區北甲賀町四番地 | | 西邑せつ子 |
| 東海道大磯別莊 | | 四　升子 |
| 神田區鈴木町二十二 | | 加藤春路子 |
| 麻布區狸穴町四番地 | 伯爵夫人 | 川村裕子 |
| 麹町區中六番町三十六番地 | | 高木くら子 |
| 京橋區四紺屋町十番地 | | 高木とみ子 |
| 麻布區市兵衛町一丁目五番地 | | 田中さら子 |
| 小石川區水道端町二丁目四十一番地 | 子爵夫人 | 田中すま子 |
| 本郷區弓町二丁目二十番地 | | 丹波貞子 |
| 麹町區元園町一丁目十六番地 | | 上原豐子 |
| 京橋區因幡町七番地 | | 宮下吹子 |
| 小石川區水道町二番地 | | 三井捨子 |
| 麹町區永田町一丁目十九番地 | | 森寛子 |
| 牛込區早稻田町 | 伯爵夫人 | 大隈綾子 |
| 芝區網町十番地 | | 仁禮壽賀子 |
| 麻布區本村町四十七番地 | 男爵夫人 | 南部限子 |
| 本所區緑町二丁目二十四番地 | 子爵夫人 | 牧野美子 |
| 本所區松井町三丁目二番地 | | 本多辛子 |
| 本郷區元富士町二番地 | 侯爵夫人 | 前田朗子 |
| 牛込區砂土原町一丁目三番地 | | 鍋倉梅子 |
| 小石川區小日向臺町一丁目二十番地 | | 長谷川仲子 |
| 麹町區二番町三十一番地 | | 井上むつ子 |
| 京橋區木挽町九丁目三十一番地 | | 鹿島いさ子 |
| 府下荏原郡入新井村千五百五十番地 | | 玉塚と代子 |
| 牛込區排方町九番地 | | 穗積歌子 |
| 日本橋區本船町中村屋方 | | 山崎かつ子 |
| 神田區淡路町一丁目四番地 | | 宇津木しげ子 |
| 小石川區茗荷谷町八十一番地 | | 笠井梅野子 |
| 淺草區新森田町二番地 | | 大谷嘉知子 |
| 四谷區鮫ヶ橋南町四番地 | | 勝間田千代子 |
| 小石川區竹早町八十一番地 | | 三宅ふと子 |
| 神田區北甲賀町三番地 | | 三浦敎子 |
| 豐多摩郡戸塚村穴八幡上 | | 松前藤子 |
| 小石川區武島町九番地 | | 清水し津子 |

## 特別會員の部

| | | |
|---|---|---|
| 本郷區四片町十番地にノ二十七號 | | 飯田たつ子 |
| 淺草區猿若町一丁目三十七番地 | | 岩田晴子 |
| 麹町區中六番町三十五番地 | | 岡田德子 |
| 赤坂區氷川町五十一番地 | | 太田龍子 |
| 麹町區五番町十四番地 | | 加藤常子 |
| 本郷區西片町十番地ろノ二號 | | 片山かめ子 |
| 麹町區一番町三十番地 | | 金子家壽子 |
| 麹町區下二番地四十一番地 | | 吉武輝枝子 |
| 麹町區上三番町二十五番地 | 公爵夫人 | 鷹司煕子 |
| 日本橋區元大工町九番地 | | 高橋瑞子 |
| 赤坂區青山北町六丁目四十七番地 | | 多久ちゑ子 |
| 芝區汐留町二丁目一番地鐵道廿七號官舍 | | 園部さ代子 |
| 麹町區五番町十四番地 | | 野崎鶴子 |

四谷區鮫ヶ橋五十八番地　伯爵夫人　松平光子
麹町區飯田町五丁目二十番地　子爵夫人　松井正子
麹町區平河町六丁目七番地　荻原のぶ子
神田區北甲賀町十四番地　子爵夫人　秋元宗子
本郷區西片町十番地への十二號　榊　梅子
牛込區築土三丁目八番地　外山ふさ子
淺草區山の宿五十一番地　片岡保子
赤坂區檜町三番地　山脇ふさ子
淺草區南富坂町十番地　花房愛子
麹町區內幸町一丁目三十番地　高木繰子
麹町區永田町二丁目六番地　下田歌子
赤坂區一ツ木町八十一番地　羽田三緒子
京橋區三十間堀三丁目十七番地　男爵夫人　四　靜子
本郷區東片町百十六番地　緒方悅子
小石川區指ヶ谷町九番地　長谷川てう子
日本橋區濱町三丁目六番地　安達かつ子
麻布區市兵衛町二丁目八十九番地　松平芳子
豐島郡淀橋町七百二十六番地　馬渡たま子
麹町區富士見町五丁目十番地　三井晴子
麹町區富士見町一丁目二十九番地　三井五十子
芝區三田綱町一番地　伯爵夫人　德川知子
本郷區弓町二丁目十四番地　菊池たつ子
神田區雉子町三十一番地　宮本樂子
麹町區上六番町二十番地　足立清子
神田區駿河臺東紅梅町十七番地　男爵夫人　岩崎早苗子
本郷區弓町二丁目三十四番地　青山孝子
芝區伊皿子町七十五番地　高山愛子
麻布區北日ヶ窪　長與國子
本郷區金助町十二番地　男爵夫人　野田すみ子
神田區淡路町二丁目四番地一號　佐藤梅梁子
牛込區早稻田町　大隈熊子
麻布町富士見町二十八番地　男爵夫人　本多梅子
神田區駿河臺北甲賀町十一番地　佐々木芳子

京橋區出雲町一番地　福原さく子
芝區芝公園七號ノ八　吉田よし子
麻布區材木町二十四番地　松岡光子
下谷區龍泉寺町百四十八番地　原れい子
本郷區湯島新花町九十八番地　佐藤らく子
牛込區市ヶ谷田町二丁目四十番地　木內磯路子
牛込區砂土原町一丁目二番地　菊池みれ子
深川區東大工町三十八番地　鹿島琴子
四谷區仲町三十五番地　相馬隆子
四谷區右京町十三番地　尾崎いと子
小石川區春日町四十九番地　須田いそ子
本郷區弓町二丁目三十四番地　古市こう子
本郷區弓町二丁目二十四番地　辻さと子
神田區北甲賀町　金杉松子
麹町區飯田町六丁目　樫村榮子
麹町區飯田町三丁目十三番地　子爵夫人　三好うめ子
麹町區下六番町五十二番地　馬屋原ひさ子
牛込區神樂町二丁目六番地　竹屋雅子
京橋區南小田原町四丁目一番地　森岡きみ子
芝區巴町二十九番地　園田きん子
日本橋區浪花町二十二番地　新井わか子
麹町區一番町二番地　長崎多惠子
小石川區原町三十四番地　穗積松子
神田區駿河臺袋町十三番地　濱田捨子
赤坂區靈南坂町二十七番地　侯爵夫人　黑田清子
牛込區市ヶ谷加賀町二丁目二十一番地　子爵夫人　松平久子
麹町區下二番町七十四番地　中濱芳子
麻布區東町二十番地　山地謙子
本郷區相生町三丁目二十七番地　本間よし子
赤坂區新坂町　男爵夫人　川口直子
芝區三田綱町十番地　齋藤春子
赤坂區青山南町六丁目三十番地　德富靜子

本郷區西片町十番地ろノ十號　佐藤みさほ子
麴町區永田町二丁目三十三番地　伊集院しげ子
京橋區山城町十一番地　大岡春子
京橋區築地二丁目十一番地　大岡榮子
小石川區表町六十番地　山口てい子
日本橋區蛎売町三丁目五番地　長井さし子
日本橋區大傳馬町一丁目五番地　長井くら子
芝區城山町一番地　清浦さよ子
牛込區津久土八幡町五番地　松井喜伊子
麴町區一番町宮内大臣官舎　子爵夫人　田中い代子
麴町區上二番町三十八番地　山本多穂子
淺草區福井町一丁目六番地　青木すゞ子
麴町區永田町二丁目一番地　侯爵夫人　鍋島榮子
麴町區飯田町六丁目十九番地　弘田鎰子
深川區東森下町百五番地　谷崎直子
牛込區若宮町百五番地　茶尾しげ子
小石川區原町百二十六番地　坂谷こと子
牛込區納戸町四十六番地　木場こゆり子
芝區伊皿子町　三井曉子
小石川區林町四十四番地　濱欽子
芝區田町七丁目六番地　今村家蕊子
麴町區平河町六丁目十四番地　岡山とし子
芝區高輪車町三十八番地　子爵夫人　伊東ちせ子
本郷區駒込追分町五十四番地　森きい子
麻布區材木町五十五番地　増島榮砂子
京橋區築地三丁目八番地　池田米子
牛込區南町三十三番地　中島音海子
神田區駿河臺袋町十二番地　平田進子
芝區神谷町二十二番地　河島ぶん子
本郷區彌生町一番地はノ十七號　段川京子
牛込區西五軒町四十一番地　曾根しん子
麴町區飯田町六丁目二十番地　松井曾子

日本橋區住吉町二十二番地　樋口八重子
麻布區新網町二丁目五十一番地　三村ひさ子
芝區榮町十三番地　久松貞子
日本橋區小網町四丁目五番地　大森ちやう子
神田區南甲賀町十七番地　朝倉ゆき子
赤坂區榎坂町五番地　川添香代子
麴町區衆議院官舎　林田ふみ子
麻布區飯倉五丁目五十六番地　岩下ゆい子

## 通常會員

### い之部

牛込區早稲田馬場町三十五番地　犬養千代子
牛込區東軒町四十二番地　伊藤琴子
牛込區砂土原町二丁目一番地　伊藤富子
牛込區北山伏町四十二番地　板倉藤子
芝區田町一丁目十二番地　石河里子
麴町區永田町一丁目十七番地　男爵夫人　伊東やへ子
神田區淡路町二丁目四番地　井野うち子
赤坂區溜池榎坂町四番地　岩野幾世子
芝區田町八丁目七番地　磯部緘子
麻布區宮村町　伯爵夫人　井上武子
麻布區廣尾町三十三番地　井上光子
小石川區指ヶ谷町盲唖學校　石川さの子
麴町區飯田町六丁目七番地　岩橋とき子
本郷區本郷四丁目三十五番地　石井園子
神田區駿河臺鈴木町五番地　五十嵐つね子
本郷區曙町十六番地　岩永さと子
本郷區曙町十六番地　今村末子
本郷區春木町二丁目五十六番地　伊東まき子
赤坂區溜町二番地　石黒すま子
本郷區天神町一丁目九十四番地　今田初子

赤坂區田町七丁目二番地　石田くめ子
芝區愛宕町　伯爵夫人　板垣きぬ子
四谷區坂町九十番地　稻垣かつ子
四谷區大番町十九番地　石川さだ子
神田三崎町三丁目一番地　伊藤喜美榮子
神田區北甲賀町九番地　男爵夫人　池田甲子子
神田區駿河臺北甲賀町十番地　一井てい子
下谷區池ノ端茅町二丁目八番地　犬養かつ子
神田區今川小路三丁目三番地　出淵のぶ子
深川區木場町十五番地　井澤ろく子
芝區櫻川町八番地　入澤みき子
赤坂區青山北町六丁目三十三番地　石光佐家子
麻布區廣尾町二番地　池田千代子
麻布區廣尾町二番地　池田さき子
麴町區中六番町二十七番地　岩崎こく子
牛込區砂土原町二丁目三番地　井田みれ子
本所區菊川町一丁目二十七番地　石田豐子
京橋區西紺屋町八番地山本方　入江まさ子
小石川區原町二十九番地　磯部よし子
牛込區袋町八番地　飯田幸子
牛込區市ヶ谷藥王寺前町七十一番地　石栗とせ子
京橋區西紺屋町八番地山本方　石黒咲子
芝區三田四國町二十八番地　井上美代子
芝區車町四十五番地　市村三保子
日本橋區久松町二十九番地杉浦方　石黒きく子
神田區仲猿樂町十七番地　井本秀子
小石川區西原町二丁目四十番地　井ノ口たず子
神田區駿河臺西紅梅町彌生看護婦會　稻葉千代子
京橋區桶町二十六番地　石崎ひさ子
京橋區木挽町二丁目十一番地　飯島鶴子
京橋區瀧山町十番地　石川さだ子
赤坂區溜池葵町二番地小松宮御邸御奥　石川たき子

神田區元柳原町四十四番地櫻井方　今井きく子
四谷區鹽町一丁目二十九番地　伊藤こう子
牛込區仲町三十二番地　石坂きよ子
芝區愛宕町北里病院內　伊藤きく子
本所區龜澤町二丁目三番地　磯部つや子
本郷區西片町十番地ろノ八號　祝のぶ子
麴町區永樂町永樂病院內　今淵榮子
麻布區日本赤十字社病院內　五十嵐きくゑ子
日本橋區久松町廿九番地看護婦會　井上なか子

## は之部

麴町區永田町二丁目一番地鍋島邸內　早田純子
麴町區紀尾井町三番地　橋本貞尾子
小石川區小日向臺町二丁目四十七番地　伴よし子
赤坂區青山南町六丁目七十六番地　橋本ちせ子
牛込區二十騎町六番地　林竹子
牛込區山伏町十番地　林靜子
本郷區湯島天神町一丁目六十四番地淺井方　服部もと子
麴町區平河町六丁目二十六番地　原みつ子
日本橋區北新町二番地　林つる子
神田區小川町四十一番地　林さく子
神田區南甲賀町八番地　原政子
麴町區竹橋中央氣象臺官舍　馬場きく子
日本橋區久松町二十九番地杉浦方　林この子
牛込區南山伏町二十番地　橋本滋子
下谷區徒士町一丁目三十五番地　早川花子
芝區三田四國町二番地十四號　八田てつ子
本所區相生町五丁目五番地　芳賀光子
淺草區須賀町明治病院內　濱野さく子
深川區富岡門前東仲町八番地　林田曉子
淺草區明治病院內　原田みや子
小石川區指ヶ谷町七番地　原靜子

京橋區銀座三丁目三番地　荻原さの子
牛込區市ヶ谷田町三丁目三十七番地　早川わか子
赤坂區新町三丁目四十四番地　長谷川たよ子
日本橋區久松町廿九番地看護婦會　長谷川むめ子

## に之部

麹町區飯田町六丁目十六番地　西尾京子
京橋區三十間堀二丁目九番地　新山きく子
牛込區加賀町二丁目十二番地　西川ふみ子
赤坂區氷川町一番地　新山雅樂子
牛込區仲町十一番地　仁尾しげ子
牛込區辨天町九十九番地　西野喜子
下谷區山伏町二十番地　二宮めぐり子
淺草區西三筋町五十四番地　西田涌子

## ほ之部

赤坂區青山南町七丁目一番地青山學院　本田てい子
神田區淡路町二丁目二番地　穗積さい子
本郷區西片町十番地に ノ 二十九號　細木さみ子
神田區美土代町一丁目一番地　堀口みき子
牛込區河田町九番地　本荘すゞ子
日本橋區坂上町十七番地　堀田いわ子
芝區小山町三十番地　本多りく子
神田區駿河臺西紅梅町彌生看護婦會本部　堀かた子
深川區右石場町六番地　堀越みつ子
日本橋區久松町二十九番地杉浦方　細田さり子
神田町鍛冶町七番地　堀内ゑん子
本所區元町二十二番地田中喜作方　細野さ代子
神田區表神保町八番地　堀口ひな子
麻布區三軒屋町三十三番地　堀口まり子

## へ之部

牛込區簞匠町三番地　別役ゆか子

## と之部

牛込區若宮町十三番地　豐島清子
牛込區辨天町四十番地　島貝ろく子
牛込區若松町百三十二番地　戸川信子
牛込區市ヶ谷加賀町二丁目三十一番地　頭山立子
牛込區天神町七十八番地　富永のぶ子
日本橋區久松町二十九番地杉浦方　轟つゞ子
麹町區胃腸病院內　富田のり子
四谷區簞笥町三十五番地　戸川操子

## ち之部

麹町區永田町二丁目七番地　長郷千代子
麻布區日本榎區赤十字社病院　千楽てる子

## を お之部

赤坂區臺町十四番地　大西幾子
芝區高輪南町五十五番地　緒方芳子
麻布區笄町百十八番地　沖き代子
日本橋區青物町三十三番地　岡野かく子
芝區高輪臺町二番地　大西靜子
芝區傳染病研究所　岡村ゑげ子
赤坂區青山高樹町三番地　大井上かれ子
麹町區下二番町六十六番地　岡野いく子
麹町區飯田町三丁目十番地　長田しき子
神田區北甲賀町四番地　大澤と代子
京橋區築地三丁目十五番地　太田もさ子
京橋區築地三丁目十五番地　岡田せい子
神田區錦町三丁目二番地　大關ちか子
日本橋區濱町一丁目三番地　大井田眞子
本郷區東片町百三十一番地　大澤さく子
本郷區西片町十番地ろノ十六號　岡澤わか子

本郷區順天堂病院　大久保晃子
本郷區駒込千駄木町五十番地　岡田ひで子
下谷區御徒士町二丁目九番地　大森くめ子
麻布區三軒屋町三十八番地　小倉すゞ子
麻布區本村町百七十四番地　岡崎き代子
南豐島郡千駄ヶ村　侯爵夫人　大山捨松子
麴町區元園町一丁目二十　番地　小山田かち子
警視廳四號官舍松井茂方　大谷てう子
牛込區市ヶ谷藥王寺前町三十八番地　大塚いはほ子
麴町區内幸町一丁目三番地胃腸病院　岡野とく子
麴町區有樂町三丁目一番地　奥村知惠子
豐多摩郡戸塚五百七十三番地　小川まつ子
本郷區弓町二丁目二十八番地　越智野子
本所區相生町四丁目十七番地　岡田せん子
麴町區永田町二丁目十三番地　大島すい子
小石川區小日向大五天町三十三番地　大河内完子
芝區愛宕町二丁目三番地渡邊方　奥田糸子
芝區金杉濱町七十三番地九號田村方　奥山さし子
牛込區原町一丁目五十七番地　小田川みつ子
神田區駿河臺袋町九番地　大井まさ子
牛込區下宮比町六番地　大谷政子
麴町區富士見町一丁目二十八番地看護婦會　大橋小粂子
芝區三田四丁目七番地　大木次子
牛込區仲町三十三番地　岡崎いし子
麻布區笄町九十四番地　大石花子
淺草區猿若町一丁目十二番地　大澤喜代子

## わ之部

日本橋區茅場町四十九番地　渡邊よれ子
赤坂區表町三丁目青山御所前笠原方　鷲谷保子
麴町區中六番町十番地　和田垣つな子
下谷區二長町五十九番地　和田ふく子
日本橋區濱町三丁目一番地　若林かれ子
芝區櫻川町十二番地室方　渡邊錄子
小石川區小日向臺町二丁目十六番地　渡邊なつ子
芝區佐久間町三丁目五番地　渡邊松子
本郷區四片町十番地和田方　和田英子
淺草區明治病院内　和田ゆき子
芝區新濱町一丁目一番地　渡邊千施子
下谷區練塀學校内　和田みれ子

## か之部

麻布區東町二十四番地　川上やす子
麴町區富士見町六丁目二番地　男爵夫人　神山まさ子
神田區淡路町二丁目九番地　男爵夫人　神田穗子
芝區小山町一番地　加藤つる子
芝區白金猿町一丁目七十一番地　河津敏子
麴町區富士見町四丁目四番地　河本かめ子
牛込區新小川町二丁目十番地　川田みつ子
麻布區霞町一番地　門野駿子
芝區田町九丁目四番地　加藤きく子
芝區琴平町十二番地　加藤きよ子
麴町區富士見町六丁目七番地　賀茂東美子
芝區高輪車町五十五番地　加藤展子
麴町區永田町二丁目二十八番地　河野せき子
日本橋區兜町三番地　粕谷たけ子
京橋區西紺屋町八番地　神崎半子
神田區錦町三丁目二十二番地　河崎はる子
牛込區市ヶ谷加賀町十二番地　金坂すゞ子
牛込區横寺町五十一番地　河村千代子
牛込區簞笥町三十一番地　河村よし子
麴町區三番町二十番地　河原久子
日本橋區蠣殼町三丁目十一番地　兼子さき子
麻布區廣尾町百三十五番地　河合なよ子

浅草區須賀町二番地明治病院内　門井愛子
芝區田町九丁目十番地　加藤みよ子
牛込區若松町五十九番地　川地遊亀子
四谷區愛住町三十八番地　河野きし子
麹町區九丁目四番地　河村君子
牛込區拂方町二十五番地　川添はろ子
麹町區永樂病院内　片岡犀子
京橋區采女町二十八番地　金原美好子
下谷區徒士町二丁目六十六番地　香山芳子

## よ之部

本郷區元町一丁目六番地　吉原よれ子
京橋區銀座三丁目二十一番地　吉田賢子
京橋區鍋町二丁目五番地　米津たか子
本郷區西片町十番地ろノ三號　横河下枝子
芝區愛宕町四丁目七番地　吉原かや子
牛込區西大久保村四百六十番地　與倉幹子
麹町區飯田町五丁目四番地　依田豊子
麻布區我善坊町六番地　吉野仲子
牛込區四五軒町四十二番地齋藤方　四方えい子
新吉原江戸町十七番地　米本つろ子
芝區琴平町十二番地　吉澤みつ子
神田區駿河臺袋町瀬川病院　横川き代子
牛込區大久保余丁町百十九番地　吉武あい子
京橋區弓町二十四番地　吉松春賀子
麹町區内幸町一丁目三番地　米井鶴松子
下谷區練塀學校内　横堀乙二子
本所區外手町四十四番地早川富松方　吉田こう子
神田區美土代町一丁目十八番地　山水つれ子
浅草區藏前片町　横田美代子
府下荏原郡大井村字海邊二千四百九十八番地　横田あき子

## た之部

麹町區永田町二丁目七番地　高島つる子
本郷區西片町十番地へ號　田口つろ子
日本橋區本町二丁目十二番地　高橋孝子
麻布區霞町二十二番地　玉利和歌子
四谷區鮫ヶ橋町五十九番地　財部さわ子
神田區北甲賀町八番地　田村てう子
神田區仲猿樂町七番地　高橋清子
神田區今川小路一丁目五番地　田中こう子
神田區鈴木町十二番地　高田てろ子
赤坂青山北町二丁目三十二番地　高山らく子
牛込區二十騎町十六番地　高山さき子
芝區芝公園地二十四號光照院内　田中てろ子
駒場農科大學官舍　多々良と代子
京橋區南鍋町五番地　多田なを子
麻布區本村町百五十三番地　立川貞子
浅草區田町一丁目九番地　田中たか子
京橋區本材木町三丁目十一番地　高岡波子
京橋區南金六町十四番地　高崎妙子
神田區新石町十九番地　竹内しよう子
麹町區平河町六丁目十三番地　武富すみ子
麻布區霞町一番地　玉利のふ子
本郷區西片町十番地ろノ二十四號　竹村てい子
神田區猿樂町二十五番地　田所三辰子
本郷區西片町十番地にノ二十九號　高倉つな子
牛込區矢來町一番地　田浦屋壽子
小石川區武島町十番地　武井はつ子
牛込區矢來町四番地十二號　高田藤子
麻布區飯倉片町二十七番地田村英二方　田村あき子
日本橋區久松町二十九番地杉浦方　立石はろ子
神田區堅大工町二十一番地山根銀藏方　竹内かれ子

麴町區内幸町病院内　高瀨さと子
神田區鍋町二十五番地　立川よれ子
牛込區下宮比町二番地　田中さよ子
四谷區元鮫ヶ橋町五十八番地　瀧浦たき子
日本橋區久松町二十九番地杉浦方　高梨りん子
神田區花田町六番地醫輪方　館野しげ子
麻布區我善坊町二十六番地　玉木とよ子
牛込區辨天町百四十七番地　谷森婉子
本郷區弓町二丁目二十五番地　田村きよ子
牛込區揚場町十三番地　竹内いち子
芝區西應寺町六十一番地　武田よし子
日本橋區久松町二十九番地杉浦方　竹内いせ子
麴町區富士見町五丁目二十三番地　高島なか子
本郷區湯島天神町一丁目二十四番地　高橋泰子
牛込區船河原町十三番地　高木やす子
芝區高輪南町五十番地與平邸内　瀧澤ふゆ子
豐多摩郡角筈百二番地衞生園内　橋喜久子
麻布區三軒家町五十二番地　辰巳富野子
東京府巣鴨病院　田賀うむ子
日本橋區本銀町四丁目九番地　高木こう子
日本橋區久松町廿九番地看護婦會　館岡きん子

## つ之部

本所區緑町三丁目四十番地　津田かめ子
下谷區車坂町百七番地　築山かう子
本郷區内片町十番地いノ十一號　坪井なか子
麴町區富士見町五丁目九番地　佃うめ子
麴町區下二番町　津田仲子
南品川一丁目十三番地房州屋方　津田たま子
牛込區築土前町二十三番地橋本方　塚本部江子
牛込區辨天町百四十四番地　鶴見千代子
日本橋區箱崎町三丁目二番地　塚原梅子

## ね之部

下谷區池端茅町二丁目四番地　根岸かな子
牛込區市ヶ谷藥王寺前町八十三番地　根村鋭子
日本橋區堀留町三丁目一番地　根岸菊子

## な之部

麻布區東鳥居坂町二番地　鍋島榮子
小石川區宮下町十番地　中村春子
深川區佐賀町二丁目二十二番地　長江しげ子
本郷區駒込千駄木林町二百二番地　中島たけ子
麻布區箪笥町二十四番地　永濱駒子
南豐島郡澁谷村元中澁谷四十番地　長森ひで子
芝區三田四國町三十二番地　長野敏子
牛込區矢來町三番地中丸五十八號　中根うめ子
牛込區市ヶ谷藥王寺前町八十二番地　中村みつな子
麻布區本村町百八十五番地　中島鉄子
牛込區辨天町六十七番地　南部靜枝子
芝區田村町六十二番地　内藤千代子
深川區常磐町二丁目十番地　中濱千代子
日本橋區久松町二十九番地杉浦方　中村なか子
牛込區早稻田南町八番地　中山榮子
下谷區池之端七軒町三十七番地藤堂方　中村しげ子
麴町區永樂病院内　中尾重子
日本橋區新衞門町　滿川米子
麴町區飯田町五丁目三十番地仁壽病院　奈良かな子
麴町區永樂町病院内　中澤しゆく子
下谷區譲塀學校内　中村い代子
麴町區永樂病院内　七尾なを子
東京巣鴨病院　永松あい子

## む之部

日本橋區蠣島町三番地　棟方もゝよ子

本所區龜澤町一丁目七番地　村山すゑ子
牛込區拂方町九番地　村井はる子
牛込區市ヶ谷仲町一番地　村木きくゑ子
神田區三崎町三丁目一番地　村松しん子

## う之部

芝區高輪南町五十七番地　上野幾子
芝區三田綱町十番地　上村きよ子
京橋區采女町三十六番地　浦島てい子
日本橋區通四丁目　牛山竹代子
京橋區築地三丁目十五番地林病院内　内山くら子
神田區東紅梅町十三番地　内田すま子
麹町區三番町　子爵夫人　裏松千代子
四谷區信濃町十番地　内山訓子
深川區龜住町六番地　薄井八重子
京橋區銀座三丁目十九番地　植木ゆき子
牛込區矢來町三番地　宇多きよ子
芝區愛宕町北里病院内　植木まさ子
本所區石原町九十二番地　宇敷かつ子
麹町區元園町一番地　内川むめ子
府下豐多摩郡千駄ヶ谷五百三十一番地　内村よし子
淺草區須賀町二番地明治病院内　浦田春子
麹町區永樂町永樂病院内　植木むら子
小石川區同心町十四番地　宇都宮多賑子
日本橋區久松町廿九番地杉浦方　鵜澤米子
本郷區湯島三組町八十一番地　宇田川利子
牛込區矢來町三田番地舊殿五十六號　上野廷子
芝區金杉濱町六十六番地　潮田千勢子

## の之部

芝區芝公園紅葉館内　野邊地たき子
四谷區信濃町　野崎わか子
小石川區久堅町三丁目八番地　野村すみ子
深川區三好町三番地　野々宮みよ子
赤坂區田町二丁目十五番地　野崎せい子
淺草區山ノ宿町五十三番地　野口かう子
豐多摩郡千駄ヶ谷村三百六十一番地　乃木ちせ子

## く之部

本所區元町十八番地　栗塚龍子
小石川區金富町三十五番地　久保田八重子
本所區若宮町八十七番地　栗原いれ子
神田區錦町三丁目六番地　熊澤しま子
麹町區内幸町病院内　久住たい子
下谷區仲徒士町二丁目二十一番地　窪野しげ子
麹町區永樂病院内　介澤穎子

## や之部

芝區榮町八番地　山田そよ子
牛込區市ヶ谷富久町百二十六番地　男爵夫人　安保よれ子
赤坂區新町五丁目四十二番地原田方　柳川基礎子
小石川區久堅町三十七番地　山川二葉子
淺草區松葉町三十二番地山路事務所内　山路光子
四谷區本村町三十七番地　山上よし子
芝區本芝三丁目十五番地　山岡せい子
芝區推手町十七番地　山際はる子
麹町區三番町五十一番地　矢島つや子
芝區田町四丁目六番地　山田くめ子
京橋區西紺屋町八番地行徳結合　山本里子
芝區琴平町九番地　山本みつ子
芝區三田四國町十五番地　山口せき子
麹町區上二番町三十三番地　矢島かち子
京橋區築地二丁目五番地鶴田方　山本たま子
牛込區市ヶ谷富久町百二十六番地　男爵夫人　安保操子

本郷區西片町十番地ろノ六號　矢部ふき子
本所區相生町四丁目十七番地　山本きよ子
牛込區揚方町十一番地　山田文子
麹町區隼町二十番地　山本卜つ子
新宿原角町一番地　山崎てつ子
神田區錦町三丁目二番地看護婦會　山口もさ子
麹町區有樂町一丁目五番地　矢野ふみ子
神田區駿河臺西紅梅町十二番地　山岸とし子
神田區猿樂町十二番地小林方　矢野總代子
淺草區西鳥越町三番地横山彦太郎方　川本紫子

## ま之部

神川區小石川一番地河田方　牧野文子
芝區三田三丁目十四番地　松山信子
本郷區弓町一丁目十五番地　子爵夫人　松平鈴子
下谷區仲徒士町二丁目三十五番地　丸茂むれ子
日本橋區南茅場町十二番地　松村鐘子
牛込區赤城下町二十二番地　増田せい子
本郷區西片町十番地へノ三號　眞水定子
芝區櫻川町十番地　牧かれ子
芝公園九號ノ七　町田ゐい子
芝區三田一丁目二十八番地　伯爵夫人　松方欧子
神田區北神保町十八番地　馬島園子
麹町區上六番町三十三番地　眞野たか子
麻布區我善坊町三十四番地　松崎すぎ子
麹町區永田町二丁目六番地下山方　松本ゐい子
麹町區三番町二十番地　松本正木子
牛込區矢來町三番地字中ノ丸六十號　松本貞子
本郷西片町十番地いノ七號　町田こま子
牛込區矢來町一番地百十九號　松本いさ子
麹町區下六番町十七番地　松澤こか子
赤坂區氷川町三十六番地　眞崎登代子
赤坂區丹後町七十七番地　[illegible]谷かれ子
本郷區彌町六番地　松波好子
日本橋區西河岸十二番地　前田富美子
赤坂區新町三丁目四十四番地　眞崎敏子
小石川區久堅町七十一番地　牧野英子
本郷區弓町二丁目八番地寺尾方　松永くに子
麹町區平河町五丁目十二番地　松下貞子
下谷區練塀學校内　増田りう子
下谷區中根岸四十七番地　松澤安子

## ふ之部

麹町區飯田町一丁目八番地　船曳みき子
芝區小山町五番地　藤田聞子
麻布區材木町五十番地　藤岡千勢子
芝區小山町一番地　福島つる子
日本橋區吉川町八番地　古矢かま子
内藤新宿御料地内　福羽てつ子
牛込區市ヶ谷田町三丁目二十五番地　福原はな子
四谷區坂町八十二番地　深井せい子
本所區向島小梅町二百十三番地　古川さめ子
日本橋區久松町二十九番地杉浦方　深山すへ子
麻布區笄町百二十九番地　福永淺子
新潟市上大川前通十番町　藤田りた子
牛込區通寺町三十九番地　福原清子
牛込區市ヶ谷賀町三丁目十八番地　藤森若枝子
牛込區築土前町十八番地　古澤信子
麹町區一番町三十九番地　福島多喜子
下谷區練塀町練塀學校内　藤牧ふト子
府下千住中組八百三十九番地　藤田ゐい子
淺草區掃除町十二番地内藤智與方　古川節子

## こ之部

神田區鈴木町二番地　後藤わさ子

| | | |
|---|---|---|
| 日本橋區元大坂町十三番地 | | 後藤はつ子 |
| 神田區北神保町十三番地東部看護婦會 | | 小林すて子 |
| 本郷區西片町十番地はノ廿四號 | | 近藤幸子 |
| 麻布區笄町六十六番地 | | 兒島悅子 |
| 牛込區市ヶ谷仲ノ町五十八番地 | | 原東雲子 |
| 芝區明舟町十六番地 | | 小森すが子 |
| 麴町區元園町一丁目十一番地 | | 兒島直子 |
| 麴町區內幸町貴族院官舍 | 公爵夫人 | 近衞もと子 |
| 麴町區內幸町一丁目三番地胃腸病院 | | 駒井まさ子 |
| 麴町區平河町四丁目十番地 | | 近藤きく子 |
| 赤坂區丹後町一番地 | | 小瀨ろい子 |
| 牛込區辨天町百六十番地 | | 兒玉ちよ子 |
| 日本橋區久松町二十九番地杉浦方 | | 近藤いく子 |
| 日本橋區蛎殼町二丁目七番地 | | 小林つろ子 |
| 本郷區四丁目四十三番地 | | 小山花子 |
| 牛込區矢來町三番地山里四十六 | | 神足とも子 |
| 芝區三田四國町十五番地 | | 近藤花子 |
| 本郷區追分町百番地 | | 小林さだ子 |
| 神田區小柳町 | | 小髙つや子 |
| 下谷區御徒町二丁目十六番地 | | 小林澤子 |

## ゑえ之部

| | |
|---|---|
| 麴町區內幸町一丁目三番地胃腸病院 | 遠藤よし子 |
| 日本橋區久松町二十九番地杉浦方 | 海老原こう子 |

## て之部

| | |
|---|---|
| 小石川區豐川町二十四番地 | 寺田恒子 |

## あ之部

| | |
|---|---|
| 神田區袋町七番地 | 新井琴子 |
| 麻布區箪笥町六十五番地 | 淺井梅子 |
| 麴町區平河町六丁目二十四番地 | 相原ひさ子 |
| 芝區三田功運町十九番地 | 鹽田操子 |
| 牛込區市ヶ谷町百二十番地 | 青戸さく子 |
| 芝區三田松坂町三十四番地 | 阿部亟子 |
| 本所區南二葉町十二番地 | 荒井多嘉子 |
| 京橋區南八丁堀一丁目二十八番地 | 綾井きん子 |
| 牛込區天神町七十一番地 | 青木すみ子 |
| 牛込區市ヶ谷加賀町二丁目二十番地 | 安藤さく子 |
| 牛込區南町十三番地 | 安藤ひで子 |
| 本郷區元町三丁目四十八番地博愛看護婦會 | 渥美かな子 |
| 京橋區築地三丁目十一番地 | 安藝てつ子 |
| 下谷區練塀町六十番地荒井八郎方 | 荒井かめ子 |
| 淺草區新森田町五番地 | 相坂壽美子 |
| 神田區鍛冶町四番地 | 天田鶴子 |
| 芝區愛宕町北里病院內 | 新井とよ子 |
| 日本橋區久松町二十九番地 | 青山光子 |
| 京橋區本港町十七番地 | 秋田治子 |
| 淺草區旅籠町三丁目十一番地 | 有山ふさ子 |
| 下谷區北稻荷町四十八番地 | 荒木てつ子 |
| 麴町區下六番町四十八番地 | 淺田みれ子 |
| 麴町區永田町二ノ三十平林方 | 新井和歌子 |
| 芝區田町六丁目十四番地 | 安藤光子 |

## さ之部

| | | |
|---|---|---|
| 芝區三田四國町二丁目十二號 | | 澤邊れん子 |
| 麴町區三番町三十二番地 | | 榊實子 |
| 芝區三田綱町一番地 | | 齋藤せん子 |
| 麻布區鳥居坂町九番地 | | 實吉れん子 |
| 麴町區三年町 | 侯爵夫人 | 西鄕清子 |
| 神田區錦町鈴木方 | | 佐々木かく子 |
| 麴町區永田町二丁目一番地 | | 阪本房子 |
| 麴町區下二番町六十四番地 | | 櫻井鎭子 |
| 麻布區材木町十番地 | | 佐々木順子 |

芝區櫻田和泉町九番地　佐藤歌子
本郷區駒込二百三十二番地　佐藤靜子
本郷區弓町二丁目二番地　吉川さき子
赤坂區氷川町三十六番地　相良淑子
芝區車町三十五番地　鮫島みれ子
麹町區上六番町四十八番地　佐々遊喜子
麹町區永田町二丁目六十六番地　佐武てる子
本郷區四片町十番地ろノ十五號　齋藤竹子
京橋區木挽町一丁目十五番地　佐伯すゞ子
芝區櫻川町十八番地　佐々木貞子
牛込區若宮町三十七番地　篠野雪江子
牛込區原町三丁目六十一番地　眞田村子
牛込區市谷加賀町二丁目二十六番地　西郷信子
芝區宇多川横町五番地竹澤方　齋藤ふく子
下谷區仲徒士町一丁目二十三番地　齋藤もゝよ子
京橋區木挽町三十一番地　眞田みき子
麻布區市兵衛町二丁目八十四番地　齋藤次子
京橋區木挽町十丁目六番地　坂本千代子
麹町區平河町五丁目四番地　澤　とよ子
神田區駿河臺南甲賀町八番地　佐藤俊子
京橋區新肴町十番地　齋藤政子
牛込區横寺町八番地拓植看護婦會　齋藤しん子
下谷町櫻木町二番地　坂上よれ子

## き之部

芝公園第十五號地二號　岸　澄子
芝公園　子爵夫人　清岡かく子
本郷區湯島天神町三丁目十一番地　北川なを子
芝區新堀町二十四番地　木村ふみ子
駒場農科大學官舍　喜多山つせ子
京橋區四紺屋町八番地　北野璋子
本所區石原町三十五番地伊藤淺太郎方　岸田さり子

牛込區矢來町三番地箱殿四十一號　北代竹子
麹町區富士見町一丁目二十八番地　木島奥淑子
麹町區富士見町五丁目十六番地　清洲さみ子
牛込區築土前町十番地　喜多村歌子
芝區明舟町十八番地　木村芳子
本郷區元町二丁目四十八番地櫻愛看護婦會　木下かく子
淺草區田町一丁目八番地　鬼貫ふく子
豐多摩郡千駄ヶ谷村　北村信子
日本橋區久松町二十九番地看護婦會　喜多村ちか子

## み之部

芝區明舟町十九番地　三浦鉎子
麻布區龍土町五番地　三島わか子
小石川區竹早町八十二番地　三浦さめ子
本郷區四片町十番地はノ十五番　南　なか子
芝區愛宕町二番地北里病院　三堀千代子
麹町區五番町二番地　三浦さき子
日本橋區村松町三十二番地　宮田鶴子
京橋區南鍋町一丁目七番地　三島千代子
芝區三田四國町五十八番地　水谷まち子
芝區明舟町十二番地　宮崎爲子
小石川區原町百三十六番地　三崎さめ子
神田區錦町三丁目十五番地　三輪田眞佐子

## し之部

神田區袋町十三番地　清水うめ子
麹町區飯田町六丁目十八番地　島崎たけ子
赤坂區青山南町二丁目二十六番地　進　みち子
赤坂區靈南坂町二十番地　進　さし子
麹町區下二番町七十二番地　鹽田てる子
麹町區富士見町二丁目四十二番地　侯爵夫人　四條春子
麹町區一番町二十九番地　白井きん子

芝區弁手町　下村ちさ子
芝區小山町五番地　神宮司富子
芝區巴町三十四番地　篠原さだ子
芝區城山町九番地　清水よし子
京橋區木挽町二丁目十三番地佐藤方　白神しげ子
日本橋區久松町二十九番地杉浦方　志村小恒子
牛込區細工町九番地　志賀亀子
牛込區白銀町三十一番地　集堂みつ子
赤坂區青山北町五丁目二番地　柴田鶴子
本郷區四片町十番地はノ五號　下瀬勝千代子
麹町區上六番町七番地五十嵐邸内　志賀かま子
日本橋區久松町二十九番地杉浦方　篠原みち子
牛込區大久保余丁町三十五番地　澁田見ときき子
赤坂青山北町六丁目十七番地　島津治子
神田區南甲賀町八番地佐藤方　篠塚たけ子
神田區駿河臺北甲賀町十七番地　清水たけ子
麻布區澁谷日本赤十字社病院　白川勢い子
牛込區市ヶ谷仲ノ町四十九番地　志岐久子
四谷區傳馬町一丁目三十七番地　守随きよ子

## ひ之部

麹町區下二番町六十九番地　日高りき子
麹町區三番町十二番地　廣瀬りき子
本郷區丸山新町三十一番地　廣井つな子
神田區一つ橋通町十三番地　東くめ子
牛込區岩戸町三番地　廣瀬雪江子
麻布區櫻田町九番地　東三條綏子
下谷區徒士町三丁目七番地　平井琴子
本郷區湯島天神町三丁目三番地　東宮冨子
四谷區傳馬町　樋口英子
同所　小泉きよ子

## も之部

赤坂區青山南町五丁目五十番地　森尾しげ子
牛込區岩戸町十八番地　森しん子
牛込區上宮比町五番地　森安かた子
日本橋區濱町二丁目四番地　森川かめ子
麻布區飯倉片町三十二番地　森園子
淺草區須賀町二番地明治病院内　望田幾右子
淺草區吉野町二十四番地　百瀬鶴江子

## せ之部

神田區花田町六番地　關輪千代子
神田區鍛冶町三十一番地　關谷たま子
京橋區長崎町二丁目五番地小谷方　關すゞ子
神田區錦町一丁目十九番地關しげ方　關壽賀子
神田區佐久間三丁目三十七番地　關口竹子

## す之部

神田區北神保町六番地　鈴木みち子
芝區榮町十三番地　菅豊子
芝區三田綱町一番地　杉いそ子
麻布區材木町六十三番地　鈴木てる子
小石川區久堅町十二番地　杉浦久壽猪子
赤坂區青山北町四丁目六十八番地　鈴木八重子
神田區北神保町十一番地　須田すゞ子
本所區柳島六番地　鈴木喜代子
日本橋區久松町二十九番地　杉浦いと子
牛込區北町十一番地　鈴木うめ子
牛込區北山伏町四十五番地　杉山わかな子
本郷區湯島三組町八十二番地　杉本岩納子

す之部未完以下次號各病院内の會員地方會員等又同上

# 女子美術學校設立の趣旨書

夫れ一國の美術は其國國民の文明知識信仰趣味の程度を説明するに足るものなれば其の進歩發達が一國文明の進歩發達に相伴隨するや論なく其の製作品の如何が國風の涵成に尠なからぬ影響を與ふるやいふ迄もなし、

我が日本は古往より美術國と稱せられ、今日に於ても漸次進歩の域に向はんとす而して今後に於て時勢の推移文明の増進と共に倍美術の發達進歩に努めざる可らざるや多言を須ゐずして明なり然りと雖も今日我國に於ける美術教育の性體如何を察するに其の範圍は狹く男子にのみ限られたるの觀を呈し女子の美術教育に至りては未だ殆んど顧みられざるの風なきに非らず是れ誠に慨すべきことに非ずや

夫れ女子には自ら美術的の性情を備ふるものあり素より女子の美術的技能を以て男子に優れりとするものに非らずと雖とも女子には女子特得の技能を有するは蓋し否む可らず故に女子に向つて美術教育を授け其の特長を發揮せしめ其の特能を完うせしむるは今日の急務に非らずや

吾人同志聊か茲に見る所あり今回新に女子美術學校を設立し女子美術教育の不足を補はんと期す而して其の目的とする所は先つ女子に向つて美術教育を施し其の學習せし所を以て女子の工藝手工其他日常の業務上に適應せしめ因て以て女子が自活の道を講じ得るに資し從て女子の社會に於ける位置を漸次高進せしめ次には女子師範學校其の他各種の女學校に於ける美術教師を養成して今日の不足に應せしめんとするにあり大方の君子吾人の微志のある所を諒して賛助を與へらるれば幸甚しといふべし

校務監督　東京美術學校長　從六位勳六等　久保田鼎

職員　校長　藤田文藏　學監　谷口鐵太郎　幹事　田中晋　舍監　横井たま

教師　東京美術學校講師從五位　岩村透○磯村吉雄○女子高等師範學校助教諭　波多野さく○大岩近藏○東京美術學校教授從六位　川端玉章○東京美術學校教授從七位　川之邊一朝○東京美術學校講師　川崎千虎○川島原長衞○横井たま○谷口鐵太郎○谷紀三郎○田中晋○美術學校講師ドクトル、オブ、ヒロソヒー　藏原惟郭○女子高等師範學校助教諭　谷田部とゆん○山崎ソウラー○美術學校教授從七位　藤田文藏○伏見藤三郎○木原とき○美術學校助教授　島田友春（イロハ順）

◎規則書御入用の方は貳錢切手封入東京市本郷區弓町二丁目一番地女子美術學校宛申込まるべし

明治三十四年四月

東京市本郷區弓町二丁目一番地

# 女子美術學校

## 私立大日本婦人衛生會宇都宮支會規則

第壹條 本支會ハ私立大日本婦人衛生會宇都宮支會ト稱ス

第貳條 本支會ニ會長一名副會長一名評議員拾五名幹事四名ヲ置ク
會長副會長ハ公撰シ評議員幹事ハ會長之ヲ撰任ス
各役員ノ任期ハ一ケ年トス

第參條 毎月壹回(第壹日曜日)講話會ヲ開キ毎年五月講話ノ外役員ノ改撰庶務會計ノ報告ヲナス

第四條 入會ハ族所姓名ニ第五條ノ通リ會費ヲ添ヘ事務所ヘ申込ミ又ハ會員ニ紹介ヲ依頼スベシ
一 本支會ヲ脱會又ハ本會ヲ退會セントスルトキハ其旨事務所ニ届出ツベシ

第五條 本會々費ノ外別ニ支會々費ヲ要セズ
會費ハ一時ニ六ケ月又ハ十二ケ月分、新タニ入會ノモノハ其月ヨリ六月又ハ十二月迄ノ分ヲ納ムベシ

第六條 本支會ハ別ニ支會々員ヲ置キ支會會費トシテ一ケ月金五錢ヲ納ムルモノトス

第七條 講話會ニ出席ノ節ハ成ルベク家族又タハ知合ノ婦人ヲ誘引シ陪聽セシムベシ

第八條 服裝ハ清潔質素ナルヲ要ス
上衣及羽織ハ絹布ヲ用フルヲ禁ズ

第九條 特ニ支會規則ニ掲ケザルモノハ本會ノ規則ヲ準用ス

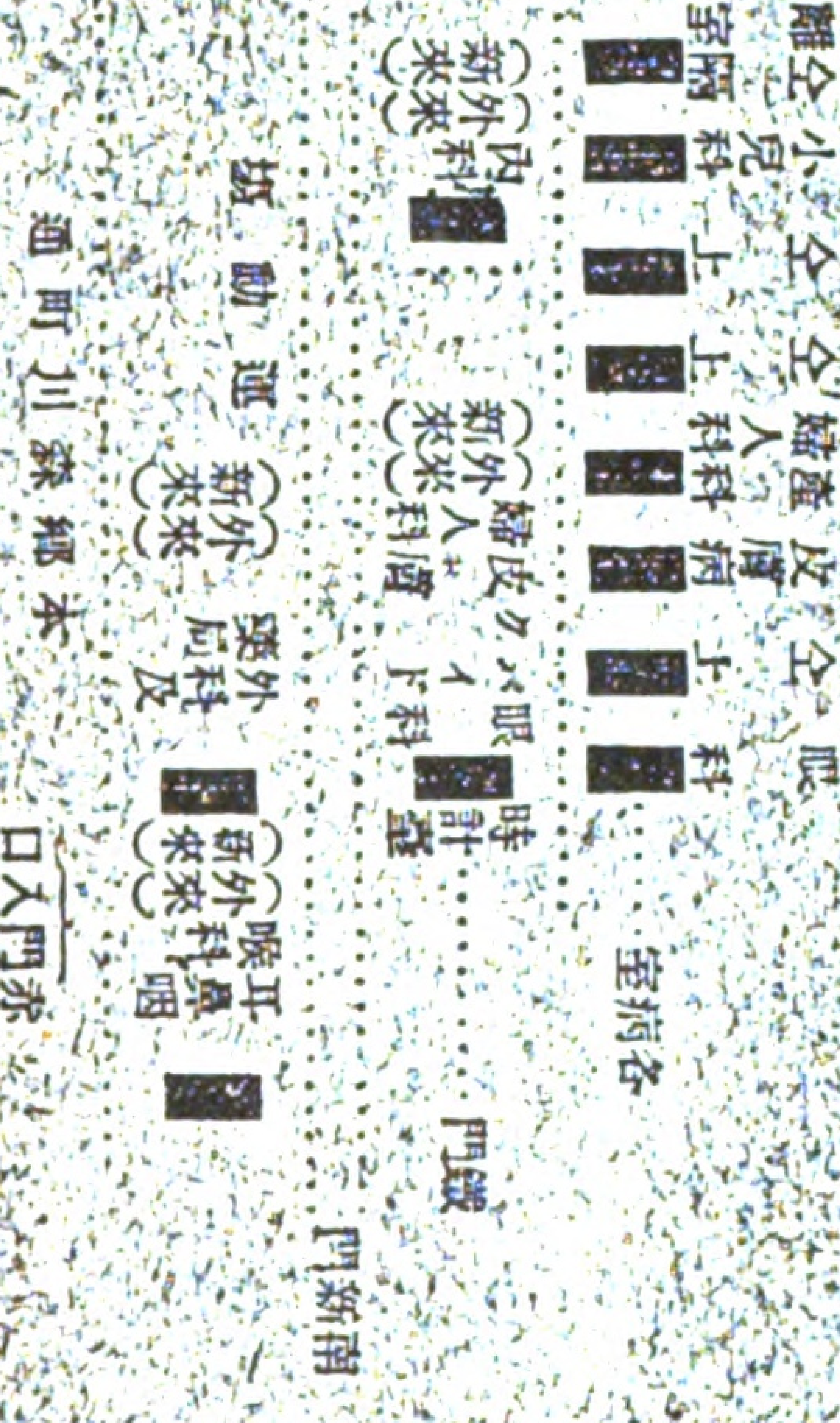
明治三十四年二月三日創立

宇都宮支會

事務所宇都宮市四
塙田町淺田方

# 東京帝國大學醫科大學附屬醫院案内

東京醫科大學附屬醫院は本郷元富士町にあり會員の便を圖り左に構内の略圖及診察時間等を掲ぐ（詳細は本誌第百三十四號以下に掲出せり）




第一醫院外來患者診察日割

内科（新來）初めて診察を受けに行くもの

三浦教授 水金 午前九時より

入澤助教授 火土 仝

橋本助教授 月木 五

再來（二度目以上診察を受けに往くもの）

助手 火木土 仝

外科（新來）

ドクトル・スクリバ 水金 午前十時より 三十人

近藤教授 火木土 午前九時より 二十五人

再來 助手 月水金 午前九時より

眼科（新來） 河本教授 月火水木金土 午前八時より

再來 河本教授 月火水木金土

助手 仝上

産科婦人科（新來） 木下教授 火木土 午前九時より

再來 木下教授 火木土 仝上

助手

小兒科（新來） 弘田教授 月水金 午前十時より

再來 弘田教授 火木金 午前九時より

助手

皮膚病科（新來） 土肥教授 月水金 午前九時より

再來 土肥教授 月水金 仝上

助手

耳鼻咽喉科（新來） 岡田教授 月水金 午前九時より

再來 岡田教授 火木土 仝上

助手

脚氣病科 新來再來とも 火木金 仝上

助手

但大祭祝日及急病患者は此限にあらず

病室來訪時間（午後一時より仝五時迄）

外科及事務用 電話（本局四百四十六番）

産科婦人科小兒科 電話（本局四百四十四番）

第二醫院診察日割

第二醫院燒失後は第一醫院外科の一部に於て診療する元の如し

内科（新來）

青山教授 火木

入澤助教授 月

橋本助教授 水土

助手 仝

新來

佐藤教授 火木土

助手 月水金

眼科（新來）

甲野助教授 火木土

入院料

一等 一日金參圓

二等 一日金貳圓

三等 一日金壹圓

但特別に附添看護婦を傭使するものは別に其傭使料を納めしむ

尚私費患者入院心得は本誌第百三十六號官費入院患者心得等は本誌第百三十七號を一覧せらるべし

# 私立大日本婦人衛生會 新潟支會規則

第一條　本會は大日本婦人衛生會に屬し婦人衛生の研究を目的とし兼て一般慈善事業を爲すにあり

第二條　當支會の會費は左の六種とす

| | | |
|---|---|---|
| 終身會員 | 一時限り出 | 金貳拾圓 |
| 特別會員 | 毎月 | 金參拾錢 |
| 通常會員 | 仝 | 金貳拾錢 |
| 支會員 | 甲毎月 | 金拾錢 |
| | 乙仝 | 金五錢 |

第三條　入會せんとするものは役員に申出て其承認を得べし

第四條　會費毎月拾五錢以上を納むるものには本會衛生雜誌を配布す

第五條　會費は雜誌料として一部を本會へ納め殘金は銀行へ貯蓄して衛生慈善資金とす

第六條　支會には會長一名副會長一名評議員十五名幹事五名理事一名を置く

會長副會長は總會に於て公撰し評議員幹事は會長之を撰任す各役員の任期は一ヶ年とし再撰するを得役員は總て無給とす

第七條　支會は毎月六日通常會を開き衛生及び慈善に關する演說をなすべし

第八條　毎年一月總會を開き支會の要務を舉行す

第九條　本會は毎年春期懇親會を催し時宜によりては慈善販賣店慈善演舌會等を開くことあるべし

第十條　天災事變に際し慈善救濟を要する場合に於ては特に會員中の有志者より物品の寄贈を募ることあるべし

會員外の篤志者より臨時金品の寄附あるときは役員の協議を以て特待員又は贊成員となすべし

第十一條　一般慈善事業の贊助天災事變の救濟の事務は役員會の決議により實施するものとす

第十二條　支會々員は服裝其他を質素にし集會の際は成可く綿服を着用すべし

第十三條　特に本規則に掲げざるものは私立大日本婦人衛生會の規則を準用す

明治廿九年四月創立

新潟支會

事務所新潟市旭町一間町十番戸　戸上フサ子方

# 私立山形支會規則

第一條　本支會は私立大日本婦人衛生會々員山形市在住者を以て組織す

第二條　本支會に會長副會長の外幹事四名商議員若干名を置く

會長副會長は公撰し幹事商議員は會長之を撰任す

役員の任期は一ヶ年とす

第三條　本支會は毎月一回(第一日曜日)講話會を開き毎年一回(五月)總會を開き講話の外役員の撰舉庶務會計の報告をなす

第四條　入會せんと欲するものは宿所姓名並に第五條の通り會費を添へ會員に紹介を依頼すべし

本支會を退會せんとする時は其旨幹事に申出づべし

第五條　本會々費は會計幹事に納むべし　但し六ヶ月　又は一ヶ年分

新に入會のものは其月より六月又は十二月迄の分を一時に納むべし

第六條　服裝は精誠質素なるを要す

上着及羽織は絹布を用ゐるを禁ず

明治三十三年二月四日創立

山形支會

事務所山形市檜物町川上方

明治二十六年[illegible]第三種郵便物認可（明治二十[illegible]内務省許可）

# ●大日本婦人衛生會規則摘要

一本會の目的は汎く婦女子をして人生の健康を保持する方法を講究せしめ衛生上の智識を開發せしめ隨て社會全般の幸福を增進するにあり

一會員たらんと欲する婦人は何人にても入會することを得

一入會の節は姓名族籍住所及會員の種類を明記し本會事務所に申込むべし入會者には黃菊若くは白菊の會員章を交付す

一會員を分ちて終身特別及通常の三種とす

一終身會員は一時に金拾圓以上●特別會員一ヶ月金貳拾錢以上●通常會員一ヶ月金拾錢を納むるものとす●男子贊成員亦同じ

一男子にして本會の旨趣を贊成する者は之を贊成員とし其會費は本會員に同じと雖も本會に功勞あるもの又は本會に於て特に贊成員たることを望みたる者は役員協議に依り無會費とすることあるべし

一會員は本會に於て毎月發行する雜誌を無料にて受ることを得

一退會せんとする者は其旨本會事務所に報知し死亡する時は親戚知友より又通知すべし但既納の會費は返戻せず

一集會は例會總會及評議員會とす集會は八九月を除くの外毎月一回とし通常第一土曜日午後一時より開會するものとす

但毎會學識經驗ある者に衛生上の講義演說談話を囑託し會員をして聽聞せしむるものとす

一會員は家族の婦女若くは知己の婦人を本會々場に誘致し講義演說等を陪聽せしむることを得（勸めて衣服は質素たるべきこと）

一講義演說等は男子の傍聽を禁す但贊成員若くは會員縁故ある男子は此限にあらずと雖も贊成員の外は本會の都合に由り臨時謝絶することあるべし

## ●支會

一地方に於て本會々員十名以上發起者あるときは其規則を定め本會長の承認を受け支會を設立することを得

一本會々員にして支會を設立せんとするときは發起者の姓名を記載し申出づべし爾後員數增減あるときは其姓名を支會より本會事務所に報知すべし

一本會々員にして支會に加入したる者の會費は本會に納付することを止め支會の規定に依るものとす尙詳細は本會事務所へ承合すべし

# 御入會の注意

**新入會の際**は三ヶ月以上の會費と相當徽章代（終身及特別會員は銀臺金章（金一圓）通常會員章（正銀五十錢）又は（銀メツキ製拾五錢）を添へ**必らず前納**にて申込まるべし但し東京府下に限り毎月會費領收證を差出すべしと雖も郡部の方は地方會員の部として領收者差出不申候也

迫て支會々員は支會へ會費納めらるべきことゝす

一會費は郵便小爲替にて本會事務所々在の郵便局（東京牛込郵便局）宛振出あるべし又通運便何にても差支なし

一會費金は受領證を交付すべしと雖も地方會員にして小爲替又は郵券にて納むるものは受領證送費として別に郵券三錢を添へらるべし

但止むを得ざる場合には郵券を代用するも妨げなしと云へども總て一割增とす

一轉居せられたるときは其旨必らず本會事務所宛通知せらるべし

一會員中若し本會の障害となるべき所爲ある者又は屢々會費を督促するも納付せざるものは役員會の決議を經て除名し若くは廣告することあるべし

| 廣告料 | | |
| --- | --- | --- |
| 一行 | 十錢 | 總て前金 |
| 一頁 | 參圓 | |

本誌定價一部二十錢　毎月一回發行

東京市牛込區矢來町三番地中丸、四
發行所　私立大日本婦人衛生會
東京牛込區矢來町三番地
編輯兼發行者　田中徳三郎
東京牛込區市谷加賀町一丁目十二番地
印刷者　戸上義章
東京牛込區市谷加賀町一丁目十二番地
印刷所　株式會社秀英舍第一工場